

Title	庭田範秋教授略歴および業績
Sub Title	
Author	
Publisher	
Publication year	1993
Jtitle	三田商学研究 (Mita business review). Vol.36, No.1 (1993. 4)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234698-19930425-04083945

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田商学研究
36 卷 1 号
1993 年 4 月

庭田範秋教授 略歴および業績

〔略 歴〕

1 学 歴

昭和25年9月 慶應義塾大学経済学部（旧制）卒業
昭和49年2月から50年3月 イギリスを中心に西欧諸国に留学

2 職 歴

昭和41年4月 慶應義塾大学商学部教授に就任
昭和41年4月から42年3月 中央大学商学部第1部ならびに第2部の兼任講師（保険学・保険演習）
昭和43年4月 慶應義塾大学・大学院商学研究科委員に就任
昭和44年4月から45年3月 明治大学商学部第1部ならびに第2部の兼任講師（保険学）
昭和46年4月から47年3月 早稲田大学商学部の講師（保険総論）
昭和54年2月 お茶の水女子大学家政学部の講師（保険学集中講義）

3 塾内担当講義

保険学（履修生数最多年度は平成3年3361名）、保険経営論（履修生数最多年度は昭和61年1218名）、新種保険論（履修生数最多年度は平成3年2103名）、保険本質論、生命保険論、火災保険論（大学院にて）、商業学、経済学（経済学部および工学部にて）、経営学（小高泰雄商学部長の代講として3ヶ月間）、英書講読、独書講読、研究会（ゼミ）

4 所属学会（○印は現在も継続中）

日本保険学会（○会員，幹事，理事，評議員）
慶應義塾保険学会（○会員，幹事，理事，常務理事，○理事長）
日本年金学会（○会員，幹事，○代表幹事）
社会政策学会（○会員）
金融学会（○会員）
日本家政学会ならびに家庭経済学部会（○会員，常任理事，○部会長）
生命保険経営学会（○会員，○評議員）
日本商業学会，日本経営学会，証券経済学会，日本協同組合学会，日本社会保障法学会，統計研究会，生活

経済学会等一時在籍

5 賞 罰

慶應義塾賞（昭和41年）「保険理論の展開」にて

慶應義塾保険学会賞（平成5年3月）

生命保険アンダーライティング学院・感謝状（平成元年9月）

健康保険組合連合会・表彰状（平成2年5月）

6 学 位

慶應義塾大学・経済学博士（昭和41年10月）主論文は「保険理論の展開（有斐閣）」

慶應義塾大学・商学博士（平成元年9月）主論文は「新種保険論（慶應義塾大学商学会）」

7 塾外活動

鎌倉市高齢者保健福祉計画作成委員会・委員（平成4年10月から現在に至る）

鎌倉市保健医療対策審議会・副会長（昭和63年7月から現在に至る、この間数次の更新・新発足あり、副会長は平成4年8月から）

鎌倉市保健医療対策審議会・専門部会・部会長（平成元年8月から現在に至る）

鎌倉市高齢者福祉対策研究会・委員（昭和63年5月から現在に至る、数次更新・新発足）

企業年金問題懇談会・委員（厚生年金基金連合会、昭和53年2月から53年10月）

共済保険研究会・理事（昭和61年6月から平成3年）

共済事業の改善について（経営診断と改善策）検討委員（全国たばこ販売生活協同組合、昭和57年2月）

漁業共済制度・検討協議会・委員（水産庁・漁政部、昭和55年3月から62年12月、この間数次改選、後半座長）

経済社会環境変化と生命保険事業に関する調査研究会・座長（郵政省簡易保険局・三菱総合研究所、昭和60年2月から61年9月）

慶應義塾労働組合三田支部・委員長（昭和38年）

健康保険組合連合会・医療保険に関する懸賞論文の審査員（平成2年）

興亜火災海上保険株式会社・社史編纂委員会・監修者（平成3年6月から現在に至る）

厚生年金基金学識経験監事

(1) 全国住宅地開発厚生年金基金（昭和58年7月から現在に至る。この間数次改選）

(2) キリンビール厚生年金基金（昭和56年から現在に至る。この間数次改選）

(3) トーハン（東京出版販売株式会社）厚生年金基金（昭和60年から現在に至る。この間数次改選）

(4) 三越厚生年金基金（昭和60年から現在に至る。この間数次改選）

交通災害の損害賠償、保険および社会保障研究会・会員（文部省科学研究、昭和60年1月から）

公立学校共済組合審査会・公益代表委員、会長代理（昭和57年8月から現在に至る）

国家公務員等共済組合連合会・年金業務懇談会・座長（昭和61年9月から現在に至る、この間数次改選）

国鉄共済組合金財政安定化のための研究会・委員（昭和53年4月から55年5月）

国民年金基金普及推進協議会・理事（平成3年1月から現在に至る）

国保問題懇親会・委員（厚生省保険局、昭和57年3月から57年8月）

私学共済年金制度の在り方等に関する調査研究協力者会議、のちに私学共済年金研究会と改名の委員（文部省、平成3年11月から現在に至る）

社員総代ならびに評議員

(1) 明治生命保険相互会社

1. 社員総代（昭和48年より数年間、数次改選）

2. 評議員（昭和50年から現在に至る、この間数次改選）

(2) 千代田生命保険相互会社

1. 社員総代（昭和48年11月より数年間、この間数次改選）

2. 評議員（昭和50年から現在に至る、この間数次改選）

社会福祉士試験委員（社会福祉振興・試験センター，昭和63年6月から平成3年，この間数次改選）

社会保険審議会・委員，始め船保部会に所属し，のちに厚生年金保険部会（厚生省，昭和54年1月から60年，この間数次改選）

社会保障研究所

(1) 専門委員（昭和56年度）

同上（昭和57年度）

(2) 監事（厚生省，昭和62年1月から現在に至る，4期就任）

(3) 機関誌「季刊・社会保障研究」編集委員（昭和62年から現在に至る）

(4) 「海外社会保障情報」編集委員（昭和62年から現在に至る）

社会保険を考える実務者の会・年金部門研究会・会長（実務者の会，平成元年5月から現在に至る）

社会保険を考える実務者の会・医療保険部門研究会・会長（実務者の会，平成元年4月から現在に至る）

生涯生活設計プログラム研究会・座長（総務庁人事局，平成3年10月から4年5月）

食品事故対策検討会・委員ならびに専門部会副部会長（食品産業センター，昭和51年3月から58年）

食品事故等対策研究委員会・委員（昭和52年から58年）

食品に係る消費者被害防止・救済対策研究会・委員長（農林水産省食品流通局，平成4年12月から現在に至る）

信託制度研究会・研究会員（いわゆる高木文雄研究会，昭和60年5月から平成4年12月）

森林損害てん補制度検討会・委員（農林水産省，昭和56年から57年）

自動車工業会・自動車保険研究会（自賠責保険と免許証保険に関する研究）・会員（昭和44年から46年）

「人生80年時代における生涯家庭生活設計に関する調査」検討会＝「生涯家庭生活設計」研究会・委員（経済企画庁国民生活局・社会開発研究所（昭和60年4月から61年1月）

スウェーデン社会研究所・理事（昭和45年から現在に至る，この間数次改選）

生活設計研究会・指導委員（日本銀行・貯蓄増強中央委員会，昭和61年9月から）

全国貯蓄推進員研究協議会・第4分科会・助言者（日本銀行・貯蓄増強中央委員会，昭和60年）

生命保険アンダーライティング学院・講師ならびに途中1年間副学院長

(1) 教務委員（昭和57年から現在に至る）

(2) 運営委員（同上）

(3) 20周年記念実行委員会・委員（平成5年3月から現在に至る）

生命保険協会・生命保険標語選考委員会・委員（昭和60年4月から）

生命保険文化研究所・評議員（～現在に至る）

生命保険文化センター

(1) 生命保険に関する学術振興委員会・委員

(2) 保険学振興委員会・委員

(3) 評議員（創設時より現在に至る）

(4) 懇談会・委員（創設時より現在に至る）

※(1)と(2)は途中改名せしもの，委員として創設時より現在に至る，またこの前身は生命保険協会内であったが，その当時も委員，これが昭和51年1月に生命保険文化センターに移管されて，今の姿で現在に至っている。

全国共済農業協同組合連合会・共済掛金率算定委員会・委員（昭和51年1月から現在に至る。この間数次改選）

全国共済農業協同組合連合会・職員採用試験出題、採点、選考（昭和47年と48年の2回）

総合計画局社会保障研究会・研究員（経済企画庁、昭和52年1月）

損害保険講演会・講師（日本損害保険協会、昭和45年度から現在に至る。）

一般研究助成審査委員（総合研究開発機構《通称NIRA》、昭和57年度、58年度）

退職準備プログラム研究会・委員・座長（総務庁、平成3年10月から平成4年4月）

中小企業受取手形不渡損害保険（共済）制度研究会・委員（全国中小企業団体総連合、昭和52年から53年）

中小企業政策審議会・専門委員（中小企業庁が事務扱い）

(1) 佐藤栄作内閣総理大臣よりの任命（昭和47年5月から51年3月）

(2) 大平正芳内閣総理大臣よりの任命（昭和55年3月から59年）

中小漁業融資保証保険制度（水産庁・漁業信用基金中央会）

(1) 問題研究会・委員（昭和44年7月から）

(2) 問題検討会・委員（昭和46年9月から48年3月）

(3) 検討会・委員（昭和50年7月）

(4) 検討協議会・委員（昭和53年5月から）

※それぞれに重複参加

千代田生命保険相互会社・生命保険に関する懸賞論文審査員（昭和47年ならびに48年、論題等は本稿次頁に記載）

電気通信共済会

(1) 相互扶助部事業第1次財政調査会・委員（昭和43年10月から45年12月）

(2) 相互扶助部事業第2次財政調査会・委員長（昭和52年12月から55年4月）

(3) 相互扶助事業調査委員会・委員長（昭和53年3月から58年3月、この間随時開催）

東京都厚生年金受給者協会・理事（昭和60年11月から現在に至る）

東京都厚生年金受給者協会・「年金の友」編集委員長（同上）

東京社会保険協会・理事（昭和60年11月から現在に至る）

東京社会保険協会・「社会保険新報」編集委員長（同上）

日本電信電話共済組合

(1) 年金問題懇談会・座長（平成3年12月から現在に至る）

(2) 懇談会・委員（昭和61年7月から）

(3) 収支計画調査委員会・委員（昭和59年2月から現在に至る、この間数次改選）

年金審議会・委員（厚生省、昭和60年10月から現在に至る、この間数次改選）

年金制度研究開発基金、のちに年金総合研究センターに改名、情報委員会・委員長（平成元年6月から現在に至る）

年金総合研究センター「年金と雇用」編集委員長

農協共済基本施策調査会・委員（全国共済農業協同組合連合会《現JA》、昭和44年8月から45年8月）

農業者年金基金評議員会・評議員（厚生省・農林水産省、平成元年10月から現在に至る。この間数次改選）

農民年金問題研究会・委員（農林水産省、昭和42年6月から43年7月）

農業災害補償制度研究会・委員ならびに座長（農林水産省・経済局、昭和63年9月から平成元年11月）

農林漁業保険審査会・委員・森林保険部会所属（農林水産省・経済局、昭和55年2月から62年1月、この間数次改選）

農業における労災保険の適用に関する研究会・座長（労働省労働基準局・平成元年1月から8月）

農林漁業団体職員共済組合

(1) 年金財政研究会・会員・第3回から座長（昭和45年4月から現在に至る。この間数次改選）

(2) 年金財政状況検討会・会員・座長（昭和56年から現在に至る。この間数次改選）

(3) 年金財政審議会・委員（昭和45年から46年）

(4) 年金問題研究会・委員・座長（昭和59年から平成2年、この間必要に応じ随時開催）
 (5) 農林年金審議会・委員・座長代理（後半から）（昭和53年3月から現在に至る。この間数次改選）
 農林年金制度に関する懇談会・座長（農林水産省、昭和57年10月から現在に至る、この間数次改選）
 被用者年金制度間調整事業に関する懇談会・委員（厚生省、平成4年6月から11月）
 保険審議会・専門委員（大蔵省、昭和47年7月から55年1月）
 三井生命厚生事業団・評議員（昭和58年8月から現在に至る、この間数次改選）
 安田火災記念財団・評議員（昭和52年から現在に至る、この間数次改選）
 安田火災記念財団

(1) 「高齢化社会における生活保障の諸問題」研究会・代表（昭和57年から58年）
 (2) 保険における営業性と福祉性」研究会・代表（昭和60年から61年）
 労災保険（労働省・労働基準局）

(1) 財政研究会・座長（昭和60年10月から現在に至る、この間数次改選）
 (2) 支払備金等研究会・座長（昭和58年5月から60年9月）
 千代田生命・「長寿社会を考える論文・感想文コンクール」審査委員、「生命保険会社は現代の社会にどのように貢献していると考えますか、またいかにあるべきでしょうか」論文審査委員（審査評は「朝日ジャーナル」通巻第683号収録）、健康保険組合連合会・「医療保険」懸賞論文審査員1回、公立学校共済組合・「公立学校共済組合の宿泊保養施設について」論文審査委員、「論文審査報告」は『共済時報』360号、361号、362号に収録）、農協共済事業に関する作文・第2部門「農協共済に生きる」審査委員（受賞者への「寸評」は「しあわせの輪をひろげよう」《全国共済農業協同組合連合会、昭和61年2月》に収録）

これは通常は遊びに類するとされるので、ここに書き込むにはお許しを願わなければならないのだが、
 坂東玉三郎メンバーズクラブ・会員 昭和57年4月から現在に至る
 歌舞伎座ほうおう会・会員 昭和58年6月から現在に至る
 浅草歌舞伎を育てる会・会員 昭和57年8月から数年間

企業年金の現状と将来・調査研究会・研究代表者ならびに研究会座長（日本経済研究センター・平成5年～7年度）
 全国不動産信用保証株式会社・監査役（平成5年度から～）
 「消費生活専門相談員」資格認定試験出題委員（国民生活センター・平成5年度）
 福祉社会研究所・理事（平成5年度から～）
 社会保障制度審議会・臨時委員（総理府、平成5年4月から）
 福岡大学非常勤講師（平成5年4月）
 慶應義塾大学名誉教授（平成5年4月）

8 その他

園遊会のお招きをいただき出席（赤坂御苑、昭和55年10月7日）
 天皇陛下御在位60年記念式典に参列（国技館、昭和61年4月29日）
 昭和天皇の大喪の礼に参列（新宿御苑、平成元年2月24日）
 桜を見る会・海部総理大臣主催に参加（新宿御苑、平成2年4月18日）
 園遊会のお招きをいただき出席（赤坂御苑、平成4年11月13日）

〔業 績〕

A 大学奉職から還暦まで

1. 単 行 本

＜著 書＞	(出 版 元)	(昭和年月)
保険経済学序説	慶 應 通 信	35. 10.
わが国近代保険学の発展	慶 應 通 信	37. 3.
社会保障の基本理論	慶 應 通 信	39. 9.
保険理論の展開	有 斐 閣	41. 1.
保険経営論	有 斐 閣	45. 5.
社会保障論—現代における保障と保険の理論—	有 斐 閣	48. 6.
現代保険の課題と展望	慶 應 通 信	49. 9.
社会保障の基本理論 (増補改訂版)	慶 應 通 信	53. 3.
損害保険の経済分析	千 倉 書 房	54. 9.
現代生命保険の課題—保険の社会学と経営学—	東 洋 経 済 新 報 社	54. 10.
社会保障と個人保障	慶 應 通 信	56. 4.
社会保障の課題と財政	千 倉 書 房	57. 9.
環境変化と生命保険	東 洋 経 済 新 報 社	58. 4.
保険教育論—その社会学と教育学の融合—	好 学 社	60. 9.
生活設計と生活保障	東 洋 経 済 新 報 社	61. 2.
競争時代の保険・共済	慶 應 通 信	61. 9.
共済は保険を越えられるか	共 済 保 険 研 究 会	62. 8.
保険は今何を為す可きか	保 険 研 究 所	62. 8.

＜英 文 著 書＞

The Economic Theory of Insurance and Social Security, Society of Business and Commerce, Keio University, Tokyo, 1971.

Insurance ; Its Principles and Practice in Japan, The Insurance Institute of the Keio University, Mita, Minato-ku, Tokyo, Jan., 1978.

The Theory of Insurance and Social Security in Japan, The Insurance Institute of the Keio University, Mita, Minato-ku, Tokyo, Aug., 1986.

＜共 著＞

協同組合保険の歴史と現実 (平井 仁氏と共著, 別に本書は『農協共済発展論—協同組合保険の歴史と現実』としても発刊されている。)

共 済 保 険 研 究 会 47. 8.

保険におけるイギリスと日本—保険社会学への序章— (庭田芳子と共著)

保 険 研 究 所 51. 4.

保険の知識 (木村栄一・高木秀卓両氏と共著)

有 斐 閣 55. 11.

保険・年金・お金のトクする情報 (井上隆司氏と共著)

日 本 法 令 61. 6.

<編 著>

現代保険の問題点とその解明 「保険行政は今後いかにあるべきか」「自動車損害賠償責任 保険の研究—その改善の方向をめぐる—」「農業者年金の 構想とその問題点」	慶 應 通 信	47. 3.
保険概論（木村栄一氏と共編） 「第1章 保険総論」「第6章 社会保険」	有 斐 閣	51. 6.
生命保険論 「第3章 家庭経済と生命保険」	有 斐 閣	52. 5.
保険経営論 「第1章 保険経営総論」	有 斐 閣	52. 5.
保険概論〔新版〕（木村栄一氏と共編） 「第1章 保険総論」「第6章 社会保険」	有 斐 閣	59. 2.
高齢者の生活保障と年金問題 「第1章 経済変動と年金制度」「第7章 アメリカの企業年 金—その現状と今後の課題—」 「第11章 保険経営における競争激化と金融問題」	成 文 堂	60. 9.
就職必携／日本の産業 4 損害保険 「第1章 7000兆円ビジネスの損害保険」	曜 曜 社	62. 5.

<他氏の編になる共著>

(論 文)

商業学における保険理論 園乾治氏編『現代保険学の課題』	東 洋 経 済 新 報 社	36. 2.
福祉国家論研究序説 『現代資本主義と保険—印南博吉博士還暦記念』	保 險 研 究 所	39. 7.
保険の安全性論 葛城照三氏編『保険学の論理と現実—末高信博士古稀祝賀論 文集』	成 文 堂	40. 3.
「保険利潤の源泉」論争批判 木村栄一氏編『大林良一博士退官記念 保険学論集』	春 秋 社	40. 6.
保険論と共済論（要約） 『農協共済発達史 資料編』	全国共済農業協同組合 連合会	43. 3.
日本社会保障史 『日本保険業史 総説編』	保 險 研 究 所	43. 4.
自賠責保険論 『日本保険学会創立三十周年記念論文集』	日 本 保 險 学 会	46. 6.
わが国における保険批判の底にあるもの—その社会学的接近— 『近代保険の諸問題—相馬勝夫博士古稀祝賀記念論文集』	専 修 大 学 出 版 局	53. 9.
迫りくる高齢化社会と今後の暮らし 吉田月二郎氏編『伝統と未来』	八 戸 市 教 育 委 員 会	56. 3.
政府による社会・労働政策の構造とその動向 森五郎氏編『日本の労働関係システム』	日 本 労 働 協 会	56. 5.
消費者教育としての生命保険教育 『新しい消費者教育を求めて』	家 政 教 育 社	56. 8.
社会保障と私的保険 『社会保障講座5 生活と福祉の問題』	総 合 労 働 研 究 所	56. 9.
中間階級の熟年層が楽しめる社会環境作り 『日本を考える』	自 由 民 主 党	56. 11.

- 社会保険政策—新しい生活保障の形成に向けて—
『スウェーデンの社会政策』 成文堂 56. 12.
- 個人年金とはなにか
坂田期雄氏編『高齢化社会と自治体・地域』 ぎょうせい 57. 3.
- 公的年金と私的年金との調整
社会保障研究所編『年金改革論』 東京大学出版会 57. 11.
- 「第2章 防災のための生活設計 第4節 災害と保険」「第3章 防災の体制 第9節 経済・金融対策」
崎川範行氏編『防災読本』 東洋経済新報社 57. 12.
- 食品事故対策としての保険ならびに再保険の構造
『商学部創立25周年記念 三田商学研究』25巻 慶應義塾大学商学会 58. 5.
- 経営効率促進と社会保障
社会保障研究所編『経済社会の変動と社会保障』 東京大学出版会 59. 8.
- 医療制度の欠陥 2 医療保険制度
福武直氏監修『明日の医療④医療と経済』 中央法規 59. 12.
- 社会保障と社会保険
佐口卓氏編『社会保険の構造と課題』 社会保険福祉協会 59. 12.
- 生命保険事業の課題と展望
『社会経済の動向と簡易保険・郵便年金 講演集Ⅵ』 通信事業教育振興会 60. 2.
- 第1章 現代と人間 第3節 調和のある経済発展と福祉の実現
『昭和60年度用高等学校現代社会』 好学社 60. 2.
- 私的年金の現状と将来—個人年金を主たる対象としての考察—
福武直・小山路男両氏共編『21世紀高齢社会への対応 第2巻 高齢社会への社会的対応』 東京大学出版会 60. 5.
- 保険経済論—その現実と将来—
『第1回共済職員基礎研修会テキスト』 共済保険研究会 60. 6.
- 保険・共済経済論—21世紀に向けての理論—
『共済職員基礎講座(2)』 共済保険研究会 60. 11.
- 生涯家庭生活設計について
『長寿社会のライフプラン』 大蔵省印刷局 61. 9.
- (書簡その他)
- 第6編 4 上石方式「療養費払方式と保険者一括代理支払方式」のその後(1)著書に寄せられた書簡
上石一男氏『医療問題をめぐる書簡集』 金剛出版 41. 11.
- 老後の近未来図 老後の保険は大丈夫か 朝日生命保険相互会社編『30代からの選択近未来へのアプローチ』 日本経営出版会 57. 10.
- “知己の恩人” 國崎裕殿
『國崎裕 人とおもい出』 日本生命保険相互会社 58. 12.
- 示唆に富む論文
『回想 相馬勝夫』 専修大学出版局 59. 1.
- 4 新しい年金制度 ここがポイント①国の年金制度が減びるときは、国も世の中も崩壊する
村田純一氏編『昭和61年4月、その日あなたの年金はこう変わる』 社会保険広報社 59. 8.
- 生命保険という名の“高利回り商品” 選択は目的を定めればおのずと決まる
『日経メディカル経営版』夏号 日経マグローヒル社 60. 6.

(座談会, 対談, インタビュー等)

- 1980年代を迎えて民間保険・社会保障のあるべき姿
『安田火災記念財団叢書 No. 10 昭和54年度版 I』 安田火災記念財団 55. 3.
- 第4部 座談会 第8章 新しい消費者教育を求めて 第9章
消費者教育としての生命保険教育の在り方
『新しい消費者教育を求めて』 家政教育社 56. 8.
- 第2部 パネルディスカッション 豊かな時代に不安はないか—
これからの暮らしと生活保障—
『生活保障セミナー—私たちの暮らしと家計を考える—』 生命保険文化センター 58. 4.
- 生活経済学のすすめ
(株)電通編『熟年生活学』 熟年シンポジウム事務局 59. 2.
- 社会保障の基本的な問題
文部省特定研究「交通災害の抑止と補償のシステム研究」第
3班「交通災害の損害賠償, 保険および社会保障」研究班
(No. 8) (非公刊) 60. 1.
- 日弁連基準(十訂版)の内容と特徴
研究代表野村好弘氏『昭和62年度科学研究費補助金(特定研
究(1))研究成果報告書 交通災害の損害賠償, 保険および社
会保障』 62. 3.
- シンポジウム・高齢化社会を考える 自分の老後にどこまで責
任を持つべきか
生命保険文化センター編『高齢化社会への対応』 日本放送出版協会 56. 2.
- 第3部 中・長期的な展望 昭和55年の年金財政再計算をみて
『80年代の年金制度のゆくえ』 日本国民年金協会 56. 3.
- 第4章 そなえる 庭田範秋氏に聞く
邦光史郎氏監修『ニッポンの熟年—その10章80考—』 電 通 56. 11.
- 昭和60年代の農協共済を語る
『福岡県農協共済三十年史』 福岡県共済農業協同組
合連合会 61. 3.

<他氏の編になる年次刊行物>

(論文)

- 第1部・1971年度賃金決定指標10.退職金・年金
『1971年度版・団体交渉のための賃金資料』 総合労働研究所 45. 12.
- 1980年度賃金決定指標 9.退職金・年金 重視される老後保障
としての年金制度
『1980年度版・団体交渉のための賃金資料』 総合労働研究所 54. 12.
- 年金における公的努力と私的努力
『年金研究年報』第1巻 年金制度研究開発基金 54. 12.
- 老後生活と保険
『図説老人白書 1981年版』 碩 文 社 56. 8.
- 高齢化社会における所得保障
『年金研究年報』第3巻 年金制度研究開発基金 57. 3.
- 1984年度賃金決定指標 9.退職金・年金 生活福祉と労務管理
両面の視角
『1984年度版・団体交渉のための賃金資料』 総合労働研究所 58. 12.

<辞典・事典>

保険辞典 初版 上・下巻
「保険政策」他数項目

保険研究所 36.9.~

37. 9.
- 社会保険事典
「簡易保険」 社会保険新報社 43. 3.
- 保険辞典〔増補改訂版〕
「保険政策」他数項目 保険研究所 46. 4.
- 世界文化大百科事典<ジュピター>全11巻
「保険」全項目 世界文化社 46.3.~
47.12.
- 保険小事典
「保険原理・総論」項目の約2分の1および
「保険経営」全項目 ダイヤモンド社 47. 8.
- ブリタニカ国際大百科事典
「保険」 TBSブリタニカ 52.
- Kodansha. Encyclopedia of Japan*
pensions, social security programs, national health insurance. 講談社 58. 11.
- <共 訳 書>
- アーナー・ホワイトヒル2世, リチャード・カルーン, ウィリアム・ノーランド著『経営と人間関係』パトリ
ア書店, 昭和35年3月
(米山桂三氏他と共訳, 原書は, R. P. Calhoon et al., *Cases on Human Relation in Management*,
McGraw-Hill Book Company)
- <監 訳 書>
- H. E. レインズ著『イギリス保険史』明治生命100周年記念刊行会, 昭和60年6月
(原書は, H. E. Raynes, *A History of British Insurance*, 2nd ed., Sir Issac Pitman & Sons Ltd.)
- <監 修>
- ゆたかな老後ハンドブック 協栄生命保険株式会社 55. 4.
2001年への道 生命保険文化センター 55. 7.
ゆたかな老後ハンドブック(改訂版) 協栄生命保険株式会社 56. 4.
- 現代社会と生活保障
「福祉をめぐる公的報障と私的保障」「私的保障としての生
命保険」 生命保険文化センター 56. 9.
損をしない生命保険の上手なかけ方 河出書房 60. 7.
- <視聴覚教育資料監修>
- (スライド)
- 暮らしのなかの生命保険シリーズ 生命保険の基礎知識
(このための資料としての小冊子「消費者のための生命保険
のおはなし」を監修作成) 日本消費者協会 52.
- (オーバーヘッド)
- 社会科公民的分野指導資料 生命保険TP(このための資料と
しての説明書を監修作成) 生命保険文化センター 54. 6.
- <編 集 協 力>
- 生命保険文化センター編(発行)『「生活設計」に関する意識
調査』 53. 6.

生命保険文化センター編（発行）『社会科公民的分野指導資料 生命保険TP（解説書）』		54. 6.
NHK「おはよう広場」編『金づくり大研究—マネープランこ れからの方法—』	KKベストセラーズ	57. 3.
鈴木健二編『NHKクイズ面白ゼミナール Part 3』	日本放送出版協会	59. 6.
中野区教育委員会編（発行）『私たちの歩んだ道 ことぶき大学 Cコース卒業文集』		60. 3.
＜シンポジウム＞		
生活設計シンポジウム事務局編（発行）『生活設計シンポジウ ム・レポート』		54. 2.
高齢化社会シンポジウム事務局編（発行）『高齢化社会シンポ ジウム 1980年』		55. 9.
電通編『第2回 熟年シンポジウム・人生80年の社会システム を求めて—活力ある熟年社会とは—熟年社会の創造をめざして』	総合研究開発機構	57. 3.
電通編『第3回 熟年シンポジウム・人生80年の社会システム 実現のために—行動する熟年—熟年社会の創造をめざして』	総合研究開発機構	58. 3.
厚生年金基金連合会編（発行）『企業年金シンポジウム・金融 革命と企業年金』		60. 3.
経済的豊かさを求めて ならびに まとめ（第2部シンポジウ ム「サラリーマンの生活設計」）『シンポジウム21世紀に向う生 活ビジョン』	福祉社会研究所	61. 5.
厚生年金基金連合会編（発行）『企業年金シンポジウム・企業 年金の未来像』		61. 12.
＜その他＞		
『自由民主党軽井沢セミナー—熟年社会への挑戦—』		56. 7.

2. 慶應義塾関係出版物へ掲載の論文その他

『三田商学研究』		(昭和年月)
＜論文＞		
『保険と価値形成』論争批判	1巻1号	33. 4.
被保険利益の本質と保険の本質	1巻6号	34. 2.
社会保険運営体に関する一考察	2巻3号	34. 9.
医療保障における医療保険	4巻3号	36. 9.
危険と保険	4巻6号	37. 2.
時間と保険	5巻4号	37. 10.
保険利潤に関する考察	5巻6号	38. 2.
社会保障の法理論	6巻3号	39. 1.
利子と保険	7巻4号	39. 10.
保険学方法論	8巻2号	40. 6.
保険論と共済論	9巻1号	41. 4.
保険企業の性格とその経営原則	9巻3号	41. 8.
「明治生命月掛外勤職員の賃金カット裁判」に現われたる生保 外務員給与問題（商学部創立10周年記念号）	10巻1号	42. 4.
類似保険の本質とその対策	10巻4号	42. 10.

保証保険の研究	12巻5号	44. 12.
自動車損害賠償責任保険と社会保障	13巻1号	45. 4.
続保証保険の研究	13巻3号	45. 8.
現代社会保険論	13巻5号	45. 12.
農協共済基本施策調査会答申(45.8.20)「昭和50年代にのぞむ 農協共済」に対する諸批判をめぐって	14巻1号	46. 4.
免許証保険論	14巻4号	46. 10.
保険と共済の関係をめぐる若干の考察	15巻1号	47. 4.
損害保険論	15巻2号	47. 6.
保険の発達過程を論ず	16巻2号	48. 6.
コンシューマリズムと保険事業	16巻4号	48. 10.
複数保険料論	17巻3号	49. 8.
わが国とイギリスにおける食品公害保険の検討	18巻3号	50. 8.
保険行政の本質とその体質転換	18巻6号	51. 2.
社会保障財政問題研究(その1)	19巻3号	51. 8.
『第三の保障』と社会保障	20巻1号	52. 4.
わが国における保険利用の実態と問題点	20巻2号	52. 6.
保険制度の利用による経営リスク対策	20巻4号	52. 10.
労働者災害補償保険における労働福祉事業の理論的研究	20巻5号	52. 12.
公害保険の可能性とその問題点	21巻1号	53. 4.
損害保険マーケティング論	21巻5号	53. 12.
福祉政策と生活設計	21巻6号	54. 2.
わが国の保険企業形態をめぐる現代的課題	22巻1号	54. 4.
保険業界における経営競争激化について	22巻2号	54. 6.
労働者をめぐる福祉と福利	22巻3号	54. 8.
事故をめぐる損害賠償, 民間保険ならびに社会保障	22巻4号	54. 10.
新福祉政策論(Ⅰ)	23巻2号	55. 6.
新福祉政策論(Ⅱ)	23巻3号	55. 8.
相互扶助の精神と自助努力型退職一時金のあり方をめぐって	23巻4号	55. 10.
食品事故(対策)保険再保険論	23巻5号	55. 12.
社会保障論展開のための基本的視角	23巻6号	56. 2.
医療の公共性と社会保障	24巻2号	56. 6.
食品事故対策としての保険ならびに再保険の構造	25巻6号	58. 2.
学校教育と保険教育	26巻3号	58. 8.
家庭教育と保険教育	26巻4号	58. 10.
保険学と保険教育	27巻1号	59. 4.
保険将来と保険教育	27巻2号	59. 6.
食品事故と消費者問題	27巻3号	59. 8.
保険セールス・共済推進・社保改正	29巻4号	61. 10.
わが国の保険事業をめぐる“保障”と“金融”	29巻6号	62. 2.
中高年(者)の生活環境と生活保障	30巻2号	62. 6.

<書評その他>

アドリアン・ウィバー著「超過損害再保険史の概要」	1巻3号	33. 9.
--------------------------	------	--------

坂寄俊雄著『社会保障』	2巻1号	34. 4.
大林良一著『保険理論』	3巻5号	35. 12.
岡部寛之著『保険経済論』	3巻6号	36. 2.
D. W. グレッジ編, 園乾治監修『生命保険の理論と実務』中巻	4巻1号	36. 4.
S. クウィーン著, 高橋梵仙訳「西洋社会事業史」	4巻2号	36. 6.
保険学説史上における園乾治先生の位置	15巻2号	47. 6.
石田重森・真屋尚生『保険理論の新展開』	23巻1号	55. 4.

KEIO BUSINESS REVIEW

(西暦年)

<論文>

On the Character of Insurance for Medical Care.	No. 2	1963.
Welfare Work and Social Security in Business.	No. 5	1966.
The Theory of Private-Personal Insurance, Co-operative Insurance and Public-Social Insurance.	No. 7	1968.
The Scale and Concentration of Business in the Insurance Industry.	No. 11	1972.
Compulsory Automobile Liability Insurance and Proposed Driver's Licence Insurance — Their Interrelations and Issues in Japan—	No. 12	1973.
Consumerism and Insurance Business in Japan.	No. 14	1977.
Public Nuisance and Insurance.	No. 16	1979.
The Economic Theory of Non-Life Insurance.	No. 17	1980.
An Approach to Insurance Sociology — I. Information and Insurance & II. Uncertainty and Life Insurance —	No. 18	1981.
Annuities and the Medical Care of the Elderly.	No. 20	1983.
Insurance Education as Part of Social Education — A Task for Insurance Sociology —	No. 23	1986.

『商学年報』

(昭和年月日)

<論文>

保険経済学の論争点	1	35. 2.
-----------	---	--------

『三田学会雑誌』

<論文>

経済学の保険論—古典派およびマルクス主義経済学の保険観—	48巻4号	30. 4.
『保険と価値形成の問題』について	49巻10号	31. 10.

<書評, 資料, 研究ノート>

印南博吉著『保険経済』	48巻1号	30. 1.
大林良一著『保険』	48巻6号	30. 6.
白杉三郎著『保険学総論』	48巻7号	30. 7.
印南博吉著『生命保険論』	48巻8号	30. 8.
保険商品説の研究	48巻10号	30. 10.
鈴木譲一・市川久仁共著『損害保険経営論』	49巻1号	31. 1.
加藤由作著『海上保険講案』	49巻3号	31. 3.

モーリス・フォーク著, 木村栄一・高木秀卓共訳『保険』	51巻9号	33. 9.
岡部寛之著『保険学新講』	51巻10号	33. 10.
L. W. アイルズ著, 本城俊明訳『団体保険の研究』	51巻12号	33. 12.
平田隆夫著『社会保障』	52巻11号	34. 11.
『講座社会保障2 日本経済と社会保障』	53巻5号	35. 5.
國崎裕著『生命保険』	53巻5号	35. 6.
森下二次也編『商業経済論体系』	53巻8号	35. 8.
石田祐六著『火災保険の研究』	54巻1号	36. 1.
菊池勇夫編『九州大学社会法講座30周年記念 社会法綜説(上) ・(下)一労働法・社会保障法・経済法一』	54巻1号	36. 1.
Φ・B・コーニソン著, 笠原長寿訳『ソ連邦の保険—生命保険 と損害保険の理論と実際—』	54巻2号	36. 2.
真野脩著『経営年金制度』	54巻2号	36. 2.
全国農業協同組合中央会編『共済事業の理論と実務』	54巻6号	36. 6.
川元英二著『アメリカ退職年金制度』	54巻12号	36. 12.

『保 険 研 究』

<論 文>

社会保険の経済的考察	1集	27. 10.
国家政策の一環としての社会保障	2集	28. 8.
わが国健康保険の本質について	4集	29. 10.
保険費用の性格と保険業の利潤について	5集	30. 4.
保険金融説の趨勢	6集	30. 11.
保険労働の本質とその問題点	7集	31. 10.
保険の限界の経済的考察	10集	33. 10.
商業と保険	11集	34. 9.
社会保険の保険理論	12集	35. 12.
国家諸政策における社会保障	14集	38. 2.
企業経営と社会保障における福利厚生施設	15集	38. 10.
保険政策論の構造	17集	40. 6.
保険企業の経営理念	19集	42. 10.
各種保険市場論	21集	44. 11.
Features of Insurance and Social Insurance	22集	45. 5.
企業経営における社会保障の影響	23集	46. 12.
年金スライド制の意義と問題点	24集	47. 12.
産学協同の将来と保険学会の使命	25集	48. 6.
保険経済の実態と理論	26集	49. 5.
保険ミニ辞典	28集	51. 5.
私的・民営疾病保険論	29集	52. 5.
中小企業の倒産についての不渡手形保険制度	30集	53. 6.
昭和保険偉人論(その1) —日本生命社“弘世現”社長—	31集	54. 6.
労務管理と社会保障—わが国におけるその特質と動向—	32集	55. 6.
食品事故保険とその再保険—両保険の仕組み方に関する私・素 案—	33集	56. 6.

公的年金と公的性格を有する企業年金の現代的機能	34集	57.	6.
住宅共済事業の長期安定策—その体質と機能発揮のあり方をふまえて—	35集	58.	6.
アメリカの企業年金—その現状と今後の課題—	36集	59.	6.
現代生活と損害保険	37集	60.	6.
生きるると老いるのエコノミックス	38集	61.	6.
社会保険改正と自動車事故被害者対策	39集	62.	6.
<そ の 他>			
巻頭言・新しい時代を、新しい諸君で	27集	50.	5.
慶應義塾保険学会創立30周年を迎えて	35集	58.	6.
『三 田 評 論』			
<論 文>			
福祉的といわれる保険の登場とその問題点	779号	53.	3.
犯罪に保険が関わるとすれば	798号	54.	12.
福祉社会と自助努力	820号	56.	12.
熟年社会における国民生活	835号	58.	4.
健保法改正の目的と問題点	850号	59.	8.
公的年金制度をめぐる (1)改正の必要性とその経緯、 (4)今回改正をふまえての今後の課題	868号	60.	3.
<随 筆 そ の 他>			
小さな庭から	624号	39.	3.
研究余滴・保険	708号	46.	10.
新著余瀝『保険におけるイギリスと日本』	762号	51.	8.
新著余瀝『社会保障と個人保障』	816号	56.	7.
『塾』			
<論 文>			
経済的保障のための保険と社会保障	35号	44.	6.
<随 筆>			
保険ブームをもたらした塾の群像	80号	51.	12.
時流が変わってきたと感ず	109号	56.	10.
『三 色 旗』			
<論 文>			
経済的保障に関する諸学の昨今	214号	41.	1.
生活の中の保険	258号	44.	9.
テキスト「保険学」を学ぶに際して	308号	48.	11.
<随 筆>			
現代農村の底力	341号	51.	8.

『保険学研究』(庭田研究会)

<序文, 随筆他>

序	1～4集(各集)	38.5.～41.7.
研究会会員諸君に望む	5集	42. 10.
研究会会員諸君に望む, 鎌倉十二景	6集	44. 1.
紛争と読書, 義塾十二景	7集	44. 12.
卒論を読む者の立場から	8集	45.
真剣に考えるべきこと	9集	46.
利己主義と奉仕主義	10集	47. 11.
福沢諭吉と勝海舟	11集	48. 11.
学生諸君留・遊学諸注意, 留学即興句集	12集	49. 12.
大学のお国から	13集	50. 12.
平家のような国イギリス	14集	51. 12.
生命保険〔助け合い〕論をめぐるアンケートへの私見	15集	52. 12.
これからの生活設計と保険制度, 庭田ゼミの歌	16集	53. 12.
生命保険はなぜ必要か, どう利用したら一番効果的か	17集	54. 12.
生命保険の仕組み	18集	55. 12.
企業年金に新しい思想を—リスク・マネジメントの一環として—	19集	57. 1.
保険は自重を, 共済は奮起を	20集	60. 1.
社会保障学 これからの時代の中心課題である福祉追求の途	21集	61. 1.
老人保健法改正の勘どころ	22集	62. 2.
このほか“庭田ゼミの歌”作詞, 作曲・編曲は正村哲朗君(昭和52年度)		

『慶應義塾大学報』

<随 筆>

すぽっと・私のホビー	48号	48. 12.
イギリスの大学めぐり	62号	50. 10.
大教室授業の解消	81号	52. 7.

『保 険』(園研究会)

<論 文>

わが国社会保険の発達過程	1集	28.
経済学者は保険をいかにみるか	2集	29.
経済学者は保険をいかにみるか(2)	3集	29.
保険・会計・保険会計	4集	30.

『実 学』

<論 文>

災害と保険	創刊号	39. 12.
-------	-----	---------

『KULIC』

<論 文>

公害の経済的保障	4巻	47. 5.
----------	----	--------

『30年一回顧と展望一』

<論 文>

健康保険の将来 55. 12.

『産 業 研 究』

<研究報告書>

保険の金融的機能 2号 39. 12.

『義塾の現状（Ⅱ）研究・教育計画委員会中間報告Ⅲ』

<報 告 書>

第1章 義塾の研究と教育の現状, 第2章 大学の研究・教育
組織と運営 第2節 大学学部の運営の現状と問題 IV商学部 42. 4.

3. 学会誌等へ掲載の論文その他

『保 險 学 雑 誌』

(昭和年月)

<論 文>

保険経済学の方法 393号 31. 3.
『流通費用としての保険費用』の研究 395号 31. 10.
経済学における価値の理論と保険の理論 398号 32. 9.
利潤と保険 409号 35. 3.
保険資本をめぐる若干の問題点 437号 42. 6.
保険問題の長期的考察 443号 43. 12.
保険業における経営規模と集中 457号 47. 6.
保険の発展方向を論ず 460号 48. 3.
公害と保険 463号 48. 12.
イギリスにおける経済変動と保険事業 470号 50. 9.
社会保障の財政問題に関する考察 473号 51. 6.
情報化社会における保険の位置—保険社会学への一歩— 484号 54. 3.
わが国における年金制度の問題点と将来展望—企業年金を中心として— 485号 54. 6.
社会教育の中での保険教育のあり方—保険社会学の課題— 498号 57. 9.

『所 報』

<論 文>

保険の諸特性とその経営理念 9号 38. 5.
70年代における保険企業の経営戦略 18号 46. 12.
厚生年金保険法の改正と厚生年金の問題点 21号 47. 12.
日本における“ゆたかな社会”と保険事業 25号 48. 11.
社会経済の変転と保険経営の変化 33号 50. 12.
社会環境と生命保険 46号 54. 3.
80年代における生保企業の経営戦略 48号 54. 9.
保険に向けての新コンシューマリズム論 53号 55. 12.
公的保障の今後の方向と生命保険のこれからの対応 66号 59. 3.

『論 集』		
<論 文>		
保険の金融理論分析	1号	40. 10.
現代保険の問題点	10号	43. 4.
『生命保険経営』		
<論 文>		
福祉国家と生命保険	No. 239	48. 9.
イギリスにおける保険事業の諸特性と問題点	No. 251	50. 9.
保険国営論批判	No. 259	52. 1.
生命保険の経営参加	No. 274	54. 7.
<そ の 他>		
生保経営学会創立50周年に寄せて	No. 273	54. 5.
『損害保険研究』		
<論 文>		
自賠償保険と免許証保険	128号	47. 2.
自賠償保険の経済論理と法律論理	143号	50. 11.
『季刊 社会保障研究』		
<論 文>		
社会保障の理念と保険の原理	7号	41. 12.
社会保険と社会サービス	20号	44. 6.
社会保障をめぐる生活の論理と生産の論理	56号	52. 6.
社会保険の財政健全化に向けての技術	75号	57. 3.
『日本年金学会誌』		
<論 文>		
年金における自由と平等	創刊号	56. 12.
新年金制度下における私的年金の課題と展望	6号	62. 1.
『季刊 年金研究』		
<シンポジウム>		
高齢化社会と小さな政府	14号	57. 2.
『季刊 年金と雇用』		
<論 文>		
国民生活における年金の課題と方向	創刊号	57. 10.
『労働法学研究会報』		
<論 文>		
社会保障と企業経営における福利厚生	630号	40. 7.
企業年金の新動向とこれからの課題	1395号	57. 1.

- 金融革命と企業年金の今後 1639号 62. 4.
- 『季刊 労働法』
 <論文>
 危険の社会化と社会保障の課題 1973 Winter 48. 12.
- 『労働法別冊』
 <論文>
 企業年金運営のポイントと信託型・生保型 No. 10 62. 2.
- 『家庭科学』(家庭科学研究所)
 <論文>
 生活のゆたかさ 75集 53. 12.
 生活をめぐる公的保障と私的保障—その日本と先進諸国との検討— 83集 55. 12.
- 『福利厚生研究会報』
 <論文>
 これからの労務管理と福利厚生施設のあり方 415号 45. 12.
 企業経営と企業年金のあり方 420号 46. 2.
 わが国における年金制度改善の方向 463号 47. 12.
 企業経営における社会保障の影響 475号 48. 6.
 年金スライド制の意義と問題点 478号 48. 7.
 低成長下の企業の福利厚生は如何に転換すべきか 520号 50.
- 『スウェーデン社会研究月報』
 <論文>
 経済学の歩みの中でのスウェーデン 13巻4号 56. 4.
 スウェーデンの生活保障 14巻5号 57. 5.
- ICIF Asia/Oceania Seminar
 <英文国際会議報告>
 Issues for Cooperative Insurance, and What We Would Like to See in World Cooperative Insurance, May 1985.

4. 委託研究・共同研究報告書その他

- <労働省労働基準局> (昭和年月)
- 労災保険の財政問題
 『労災保険財政研究報告書』 51. 7.
- 労働者災害補償保険における労働福祉事業の理論的研究—その
 本質解明と財政分析—
 『労災保険における労働福祉事業及び事務費の財政に関する
 調査研究報告書』 52. 10.
- 保有金の一般理論ならびにまとめ
 『労災保険支払備金等研究会報告書(個別研究編)』 59. 6.
- 保有金の一般理論
 『労災保険の支払備金等保有金に関する研究(要旨)』 59. 6.

『労災保険における支払備金等保有金のあり方について (中間報告)』(他氏との共同執筆)	59. 7.
労災保険の改善に向けて 『労災保険支払備金等研究会報告書(個別研究編)』	60. 6.
労災保険の改善に向けて(まとめ) 『労災保険の支払備金等保有金に関する研究(要旨)』	60. 7.
第三次産業化の中での労災保険経済 『労災保険財政研究会研究資料(個別研究編)』	61. 6.
 <農林水産省他>	
『食品事故対策検討資料[4]公害と保険』	48. 12.
『食品事故対策検討資料[14]食品事故をめぐる保険の問題』	50. 8.
食品事故対策としての保険制度 『食品事故対策検討会 専門部会議事録(第13回)』	51. 1.
[Ⅲ]食品事故に対する保険的対応の諸問題—とくに公的方法を 中心に—[Ⅴ]食品事故と再保険の諸問題 『食品事故等対策研究委員会 食品事故対策検討資料編』	53. 3.
食品事故と保険的対応をめぐる問題 『食品事故等対策研究委員会 食品事故対策検討資料編』	54. 3.
『食品事故等対策研究委員会 食品事故対策検討資料編[Ⅱ]』 (真屋尚生と共同調査)	54. 3.
食品事故(対策)保険再保険論 『食品事故等対策研究委員会 食品事故対策に関する研究報 告』	55. 3.
食品事故保険とその再保険 『食品事故等対策研究委員会 食品事故対策に関する研究報 告』	56. 3.
食品事故対策としての保険ならびに再保険の構造 『食品事故等対策研究委員会 食品事故対策に関する研究報 告』	57. 3.
『食品事故等対策研究委員会 食品事故対策に関する研究報告 資料編(2) 食品事故対策とその保険的対応』	58. 3.
消費者対応の法律的諸問題 食品企業消費者対応実態調査事業検討委員会編『食品企業消 費者対応実態調査事業報告書 食品企業消費者対応マニュアル』	59. 3.
 <農林漁業団体職員共済組合>	
農林年金の今後の課題と年金財政について 『年金財政研究会報告書』	46. 3.
『年金財政研究会 答申』(安藤哲吉氏他と共同執筆)	46. 6.
『年金財政審議会報告書』(安藤哲吉氏他と共同執筆)	47. 6.
経済環境の変化と年金財政 『年金財政研究報告書 第7分冊』	55. 10.
経済環境の変化と年金財政 『農林漁業並びに社会保障制度をめぐる諸情勢(「年金財政 研究会」答申附属資料要旨)』	56. 1.
『年金財政研究会 答申』(安藤哲吉氏他と共同執筆)	56. 1.
『昭和56年度の財政検証結果に対する意見』(安藤哲吉氏他と 共同執筆)	56. 7.

- 『現在わが国での社会保障の基本的問題点』 60. 10.
- <簡易保険郵便年金加入者協会>
- 現代における私的保障と生命保険の役割
『私的保障における生命保険の役割に関する調査研究』 57. 6.
- 生命保険事業をめぐる経済社会環境変化
『経済社会環境変化と生命保険事業に関する調査研究』 62.
- <生命保険協会>
- 『生命保険消費者論』 52. 9.
- 高齢化社会における年金の役割と問題点
『昭和56年度 外務社員教育講演会（講演要旨）』 57. 2.
- <日本生命保険相互会社>
- 保険と金融の関わり—保険制度と社会保障の関わりも込めて—
資産選択研究委員会編『個人の金融資産選択の変化並びにそれが今後の保障・貯蓄市場に及ぼす影響に関する研究』 57. 5.
- 保険における保障と金融
資産選択研究委員会編『個人の金融資産選択の変化並びにそれが今後の保障・貯蓄市場に及ぼす影響に関する研究』 58. 2.
- <電気通信共済会>
- 『財団法人電気通信共済会 相互扶助部事業第2次財政調査委員会 答申』（松本浩太郎氏他と共同執筆） 55. 4.
- 『財団法人電気通信共済会 相互扶助部事業第2次財政調査委員会 答申およびその解説』 55. 6.
- 『住宅共済事業の長期安定策に関する答申』（委員長として鈴木正泰氏他と共同執筆） 58. 3.
- 住宅共済事業の長期安定策—その本質と機能発揮のあり方をふまえて—
『住宅共済事業の長期安定策に関する委員のレポート集』 58. 3.
- <健康保険組合連合会>
- 社会保険運営体に関する一考察—保険国営論と社会保険—
『調査時報』No. 30 34. 7.
- 社会保険の保険理論
『委託研究：34年度の2』 35. 5.
- <全国共済農業協同組合連合会>
- 類似保険の本質とその対策
『農協共済事業に関する諸論潮』 43. 11.
- 新時代における民・簡保の動向と共済事業の路線
『農業・農協および民保・簡保の動向と農協の課題（記念講演集）』 54.
- 私の農協共済論（昭和48年3月，再録）
『全共連三十五年史 資料編』 62. 1.

<中小漁業融資保証制度>

- 『中小漁業融資保証保険の問題点とその改善策』（漁業信用基金中央会） 45. 6.
- 『中小漁業融資保証保険制度問題検討会報告』（片柳真吉氏他と共同執筆） 48. 3.
- 複数保険料論—中小漁業融資保証保険制度への複数保険料制度の導入問題をめぐって—
『中小漁業融資保証制度 実態調査報告書』（水産庁） 49. 3.
- 『中小漁業融資保証制度検討協議会報告』（本田大吉氏他と共同執筆） 53. 11.

<全国中小企業団体総連合>

- 中小企業受取手形保険制度について（講演速記録）
『中小企業受取手形不渡損害保険（共済）制度研究会資料 No.1』 52. 1.
- 『中小企業受取手形不渡損害保険（共済）制度研究会資料 No.2 研究報告』 53. 2.

<公共企業体等労働問題研究センター>

- 福祉政策における年金の位置と機能
『福祉国家における年金制度（調査研究資料第78号）』 55. 4.
- アメリカにおける高齢化社会の状況と企業の対応
『諸外国における高齢化社会の到来と企業の対応（調査研究資料103号）』 57. 12.

<貯蓄増強中央委員会>

- これからの経済と生活設計
『生活設計講演録—全国貯蓄推進員研究協議会から—』 58. 11.
- 『生活設計指導の手引き—若・青年編』 60. 5.
- 新時代には新生活設計で
『暮らしと貯蓄』 61. 10.

<経済企画庁国民生活局>

- 生涯家庭生活設計について
『人生80年代における生涯家庭生活設計に関する調査』報告書・調査結果について 61. 1.

<その他共済関係>

- 『昭和50年代にのぞむ農協共済（答申）』（滝口 純氏他と共同執筆） 農協共済基本施策調査会 45. 8.
- 『中小企業の協同組合組織における共済事業のあり方について』（高城 元氏他と共同執筆） 中小企業政策審議会共済制度小委員会 47. 12.
- 『国鉄共済組合年金財政安定化のための研究会 報告書』 国鉄共済組合 55. 5.
- 『漁業共済制度検討協議会報告』（丹波雅次郎氏他と共同執筆） 漁業共済制度検討協議会 56. 7.
- 『共済事業の改善について』（坂井幸二郎氏と共同執筆） 全国たばこ販売生活協同組合 57. 2.
- ゆたかな老後を目指して、今なにをしようか『共済組合レポート』 法務省共済組合 61. 3.

「自動車共済の問題点と今後の課題」について（講演）	自動車共済連合会	58. 9.
<その他>		
現代の福祉厚生課題と展開		
『福利厚生の基本原理』	国鉄厚生事業協会	47. 3.
『買い物情報と消費者(3)保険』	国民生活センター	48. 3.
『企業経営と年金制度—厚生年金保険法の改正と関連して—』	安田信託銀行	48. 10.
『新しい時代に農協共済はいかに生くべきか』	中央協同組合学園	48. 11.
現代社会と損害保険		
『コンビナートの安全に関する講習会テキスト』	燃料協会燃焼部会	50. 11.
社会保障と自賠責保険		
『企画室資料 No. 11』	自動車保険料率算定会 企画室	51. 1.
保険システムの効用と限界		
『社会保障研究会議事要旨（第7回）』	総合計画局・社会保障 研究会	52. 1.
『社会保険と私的保障—わが国の社会と生活における機能—』	生命保険文化センター	52. 12.
『高価な保障・有効な保障』	安田火災記念財団	53. 12.
『高齢化社会の到来に備える年金制度』	関東百貨店厚生年金基金	54. 6.
医療の公共性について		
『第21回 医療問題専門家会議議事速記録』	医療問題専門家会議	54. 10.
『森林損害てん補制度検討会報告書』（福森友久氏他と共同執筆）		57. 11.
松本浩太郎先生をお偲びして		
『年金哲理に捧げた生涯—松本浩太郎教授追悼記念論文集』	記念論文集編纂委員会	57. 11.
遺族保障と企業福祉		
『ニッセイ経営情報別冊』	日本生命保険相互会社	60. 4.
協同組合保険の課題と世界の協同組合保険に望むこと		
『ICIF アジア・オセアニアセミナー』	ICIF アジア・オセアニア 協会	60. 5.
『これからの時代と貯蓄の必要』	大分県・大分県貯蓄推 進委員会	61. 1.

5. 専門・経済雑誌等へ掲載の論文その他

『週刊 社会保障』		
<論文>		(昭和年月)
医療保険における現物給付と財政問題	514号	44. 5.
社会保障と「インフレ・公害・労働力不足」の問題	581号	45. 9.
健保法改正案の特徴と問題点	709号	48. 2.
法改正後の健保組合と共同事業基金	747号	48. 11.
イギリス人の生活構造と社会保障（上）・（中）・（下）	828～830号	50. 6.～7.
名医による所得再分配の手術	861号	51. 2.
労働者の経営参加と社会保障	869号	51. 4.
やがて飢えるであろう日本の社会保障	877号	51. 6.
年金財政の課題と将来『社会保障読本 1976年版』	885号	51. 8.
ガン保険・成人病保険と社会保障	886号	51. 8.
社会保障をめぐる現代人の心理的葛藤	894号	51. 10.

総選挙と社会保障	901号	51. 11.
サラリーマンの生活と社会保障	906号	52. 1.
近来の社会保障の矛盾する主張	914号	52. 3.
健保法改正の基本的問題と具体的問題	921号	52. 5.
福祉政策と地震対策	929号	52. 7.
年金財政の課題と将来『社会保障読本 1977年版』	934号	52. 8.
社会保障をめぐる不平等と財政調整	938号	52. 9.
現在の失業問題	946号	52. 10.
社会保障に“新しい”“古い”はあるか	954号	53. 1.
現代「師農公商」論と社会保障	962号	53. 3.
医療保障をめぐる“コーヒーと砂糖”	970号	53. 5.
社会保障とリスク・マネジメントの関連	978号	53. 6.
医療保険制度改革の課題と将来『社会保障読本 1978年版』	985号	53. 8.
福祉の向上を助ける家政学理	987号	53. 8.
社会保障でも流行りだした再保険	995号	53. 10.
親孝行と社会保障	1003号	53. 12.
転換期にきた企業年金	1010号	54. 2.
レジャーと社会保障	1018号	54. 4.
食品事故と社会保障	1026号	54. 6.
'80年代に向けての社会保障の命運	1034号	54. 8.
医療保険制度改革の課題と将来『社会保障読本 1979年版』	1035号	54. 8.
60歳定年と年金問題	1043号	54. 10.
年金においても“妻は他人”か？	1051号	54. 12.
厚年65歳と青少年の声	1060号	55. 2.
年金に個人的努力はありうるか	1068号	55. 4.
定年延長と被用者の精神的対応	1076号	55. 6.
“ねたきり老人”問題の現代的解決	1084号	55. 7.
厚生年金基金制度の課題と将来	1086号	55. 8.
日本型福祉と社会保障	1093号	55. 9.
“小さな政府”と“大きな保障”	1101号	55. 11.
熟年と社会保障	1110号	56. 2.
制度的親孝行としての年金制度	1118号	56. 3.
老人保健制度における患者負担の論理	1126号	56. 5.
“天保の改革”と“昭和80年代の改革”	1134号	56. 7.
厚生年金基金制度の課題と将来『社会保障読本 1981年版』	1137号	56. 8.
“なだらかな引退”と“なだらかな終末”	1143号	56. 9.
マイコン、オフコンと社会保障	1151号	56. 11.
“大都市の福祉”と“地方の福祉”	1163号	57. 2.
日米貿易摩擦と社会保障	1171号	57. 4.
わが国年金制度の課題と将来	1175号	57. 5.
“土地と金利”と社会保障	1179号	57. 6.
企業年金の新しい路線を求めて	1187号	57. 8.
青少年暴力化と社会保障	1196号	57. 10.
中高年自殺と社会保障	1204号	57. 11.

公的年金制度の一元化問題	1213号	58.	2.
未来の高齢者・身障者の生活	1221号	58.	4.
「これからは女性の時代」とは	1229号	58.	5.
社会保険方式と税方式	1237号	58.	7.
年金制度の課題と将来	1240号	58.	8.
「厚年改正」意見書の微妙なところ	1246号	58.	9.
厚生白書にみる社会保障	1249号	58.	10.
自助努力論の光と影	1254号	58.	11.
『おじんの経済学』と社会保障	1263号	59.	1.
教育臨調と社会保障	1271号	59.	3.
男女の雇用平等と年金平等	1279号	59.	5.
社会保障と個人保障はどちらが得か	1287号	59.	7.
社会保障の課題と将来『社会保障読本 1984年版』	1291号	59.	8.
スポーツ・ブームと社会保障	1296号	59.	9.
福沢諭吉の哲理と社会保障の思想	1304号	59.	11.
“ボケ保険”と社会保障	1314号	60.	1.
グリナガ事件と生活保障	1322号	60.	3.
鎌倉の生活経済学	1330号	60.	5.
新種保険の洪水は何を意味するか	1338号	60.	7.
高齢化社会と社会保障『社会保障読本 1985年版』	1342号	60.	8.
経済白書とこれからの“生きざま”	1347号	60.	9.
老化現象と保障問題	1355号	60.	11.
マルクスは消える, 新しい時代に向けて	1365号	61.	1.
“医療分野に民活導入”の意味	1373号	61.	3.
お金と福祉	1381号	61.	5.
変額保険を福祉の目でみる	1389号	61.	7.
社会保障の課題と将来『社会保障読本 1986年版』	1393号	61.	8.
新人類の就職戦線	1398号	61.	9.
第三次産業下での労災保険変容	1407号	61.	11.
現代における中高年哀歌	1419号	62.	2.
近づく大地震とその対応	1427号	62.	4.
※「今週の論評」を含む			

<随 筆>

私と『週刊 社会保障』	1000号	53.	11.
思い出の写真・全学部対抗野球	1399号	61.	9.

<学会報告, 講演等>

高齢化社会への対応のシンポジウム 自分の老後にどこまで責任をもつべきか	1075号	55.	5.
活力ある「中高年社会」を	1153号	56.	11.
社会保障の法と権利 公的年金と私的年金との調和と競合	1198号	57.	10.
総理府高齢者講座 転機に立つ社会保障	1257号	58.	12.
経済社会の変動と社会保障, 経営効率促進と社会保障	1272号	59.	4.

健保法等改正案に賛否両論が	1287号	59. 7.
新年金制度下における私的年金の課題と展望（新年金制度下 における個人年金の課題と展望）	1384号	61. 3.
企業年金の未来像	1407号	61. 11.
＜インタビュー，対談，座談会等＞		
医療保険抜本改正の基本問題	598号	46. 1.
医療保険の将来展望	854号	51. 1.
医療保険改革の課題と展望	1056号	55. 1.
年金制度の将来像見直しへ	1107号	56. 1.
クローズアップ '81 医療保険の周辺④～⑧ 社保審公益委員の庭田範秋氏（慶大教授）に聞く①～④	1153～1156号	56. 11.～12.
保健予防活動を強力に推進	1158号	57. 1.
財政再建と社会保障再構築	1208号	58. 1.
視点焦点 '83 健保組合等の附加給付問題⑧	1255号	58. 11.
中長期的視点で医療保険改革案	1260号	59. 1.
年金情報④改正は絶対必要で基本姿勢には賛成	1270号	59. 3.
ポスト健保改革の課題と展望	1311号	60. 1.
国際的評価の高い年金大改正	1363号	61. 1.
年金課税見直しで税調小委が報告 庭田範秋慶大教授に聞く	1395号	61. 8.
制度一元化で給付と負担の公平化	1415号	62. 1.
『社会保険 実務と法令』		
＜論 文＞		
保険経営論の立場からみて	6巻5号	43. 5.
医療保障と保険学理	6巻11号	43. 11.
社会保障における保険方式の効果と限界	9巻1号	46. 1.
医療保険の改正論と再保険論	9巻9号	46. 9.
共同事業基金設置要綱論	9巻12号	46. 12.
健保財政の安定化への途	15巻3号	52. 3.
＜座 談 会＞		
公一私の医療保険の役割と問題点	14巻8号	51. 8.
『社会保険旬報』		
＜論 文＞		
社会保障としての医療保険に再保険はありうるか	No. 985	45. 11.
医療保険における「再保険」構想と「共同事業基金」構想	No. 1051～1052	47. 9.
退職者医療制度の構想をめぐって	No. 1150	50. 7.
制度間財調と組合間財調	No. 1299	54. 9.
健保法改正の問題点と意義をめぐって	No. 1328	55. 7.
老人保健制度の期待部分と加熱部分	No. 1376	56. 11.
健保改正の可能性と限界	No. 1471	59. 6.

<シンポジウム>

医療保険の保険原理（社会保障研究所） No. 924 44. 2.

<各界第一線代表にきく>

10年後のわが国の医療と保険 No. 1360 56. 5.

<各界のオピニオン・リーダーにきく>

厚生省の「医療保険改革案」をどうみるか No. 1453 59. 11.

『月刊 社会保険と労務』（北村社会保険出版）

<論 文>

社会保険の基本的性格とその改善 10巻3号 46. 3.
 医療保障における「乱診乱療と一部負担」論 10巻10号 46. 10.
 年金制度をめぐる基本的問題点 12巻9号 48. 9.

『長 陽』（北村社会保険出版）

<論 文>

新しい社会像とそこでの社会保障 15巻12号 51. 10.
 新しい社会像とそこでの社会保障 15巻13号 51. 11.
 総合健康保険組合の歴史的 position 16巻4号 52. 4.
 デノミと年金 16巻12号 52. 9.
 社会保障・国民の立場と企業の立場 17巻5号 53. 4.
 高齢化社会の到来に備えての公的努力と私的努力 18巻5号 54. 4.
 昭和一族と社会保障 19巻2号 55. 2.
 年金制度と日本型福祉 20巻4号 56. 3.
 社会保障にどこまで不平等は許されるか 21巻1号 57. 1.

<随 筆>

平家のような国イギリス 15巻9号 51. 7.
 とある殺人事件に関して 20巻7号 56. 5.
 年金こぼれ話①～③ 21巻15号～ 57. 11.～
 22巻15号 58. 11.
 年金よもやま話①～⑭ 22巻7号～ 58. 5.～
 25巻15号 61. 11.
 老人保健法攻防記 26巻3号 62. 2.

『月刊 社会保険労務士』（全国社会保険労務士会）

<論 文>

企業年金に新しい思想を 14巻5号 53. 5.
 医療保険の“前にあるもの”と“後にあるもの” 15巻2号 54. 2.
 60歳定年をめぐる企業と家族 15巻10号 54. 10.
 年金における計算と人情 16巻4号 55. 4.
 今回の年金制度の改正 16巻12号 55. 12.
 社会保障における情報と意思の伝達 18巻12号 57. 12.

社会保障とその財政問題	19巻12号	58. 12.
新健康保険法に思う	20巻12号	59. 11.
新年金制度施行にあたって	22巻4号	61. 4.
高齢化社会と老人医療問題	23巻2号	62. 2.
『現代社会保険』		
<論 文>		
医療保障をめぐる赤字発生の原因	18号	53. 9.
企業年金のこれから	25号	54. 4.
年金をめぐる二つの課題	39号	55. 6.
大型企業年金の意味するもの	49号	56. 4.
年金の前途をめぐる悲観論と楽観論	59号	57. 2.
年金をめぐる貨幣と現物	72号	58. 3.
新しい年の社会保障は新しい理念で	82号	59. 1.
金融革命進行下での企業年金	95号	60. 2.
<座 談 会>		
社会保障論議の新座標 上・下	106～107号	61. 1.～2.
『月刊 厚生年金』		
<論 文>		
日本型福祉社会をめぐる①～⑩	'81, 3～12	56.3.～12.
①日本型福祉社会が唱えられる背景 ②福祉見直し論と日本型福祉 ③日本型福祉の内容と問題点 ④日本型福祉と公的年金 ⑤日本型福祉と医療保障 ⑥日本型福祉と企業年金 ⑦日本型福祉とコミュニティ ⑧日本型福祉と家族制度 ⑨日本型福祉と国際社会 ⑩日本型福祉と負担問題		
年金制度の問題点とその統合案(上)・(中)・(下)	'83, 1～3	58.1.～3.
「厚年改正」意見書の内容と問題点	'83, 10	58. 10.
<パネルディスカッション>		
企業年金の未来像	'86, 12	61. 12.
『総合社会保障』		
<論 文>		
公的保障と私的保障の関連と将来展望	22巻1号	59. 1.
個人年金講座1～4	25巻4～5号	62.4.～5.
<随 筆>		
大学に定年制度が導入されて	19巻9号	56. 8.
<座談会, シンポジウム>		
高齢化社会シンポジウム	18巻6号	55. 6.
公的年金危機説の中で一何が個人年金ブームを作ったか	19巻7号	56. 6.
どう変えるか, 私たちの年金	22巻4号	59. 4.
私的保障の守備範囲と私的保険の役割	22巻11号	59. 11.

企業年金の未来像	24巻12号	61. 12.
『すこやか』		
<論文>		
どうなる老人保健, 退職者医療!?	1986冬	61.
新年の医療保障と健保組合の対応	1987冬	62.
『社会保険新報』		
<時評>		
経済白書の中の福祉姿勢	419	60. 9.
金融革命と年金制度	420	60. 10.
企業年金を見直そう	421	60. 11.
日本の大学生は, いま	422	60. 12.
寅年の福祉	423	61. 1.
交通事故と社会保障	424	61. 2.
老後の生活費は?	425	61. 3.
医療保険をめぐる公・私の関係	426	61. 4.
本当かな? 日本の将来	427	61. 5.
国民生活審議会が描く人生とは	428	61. 6.
高齢化をめぐる哀, 愛, 敬	429	61. 7.
三つの序列	430	61. 8.
若者は見ている	431	61. 9.
職業による寿命の相違	432	61. 10.
今度は“年金の課税強化”ですか?	433	61. 11.
輝かしき勝利	434	61. 12.
“うさぎ”こそ福祉の使者	435	62. 1.
シルバー産業	436	62. 2.
国際居住年に寄せて	437	62. 3.
大量失業の時代は来るのか?	438	62. 4.
労災事故をめぐる問題点	439	62. 5.
日本人の人的魅力	440	62. 6.
『日刊 社会保険新報』		
<随筆>		
ちょっと一言	1923号	47. 1.
ちょっと一言	1931号	47. 2.
ちょっと一言	1939号	47. 3.
ちょっと一言 被害の世代	1948号	47. 4.
ちょっと一言 立場かわれば	1958号	47. 5.
ちょっと一言 今と昔とどっちがいい	1969号	47. 6.
『高年齢を生きる』(地域社会研究所)		
<座談会>		
年金を考える	13	55. 8.

これからの年金問題を語る	22	61. 3.
『共済と保険』（58号までは『共済保険研究』）		
<論 文>		
保険本質論の新課題	4号	34. 9.
時間と保険①～⑥	58～63号	39.3.～8.
経済的保障に関する諸学の昨今、 「類似保険論」論考	80号 82号	41. 1. 41. 3.
保険の原理と社会保障の原理	95号	42. 4.
保険の未来像	121号	44. 6.
新『予備貨幣説』の提唱	135号	45. 8.
保険の経営・共済の経営	145号	46. 6.
現代における経済法則と共済事業（上）・（下）	148～149号	46.8.～9.
共済資金の性格とその運用	169号	48. 5.
経済事情と保険事情の関連についての一考	200号	50. 12.
産業段階での経済的保障の問題展開	205号	51. 5.
保険と共済をめぐる新しい経済環境とその対応	206号	51. 6.
転換制度を体験して	213号	51. 12.
保険会社における従業員の経営参加をめぐって	220号	52. 7.
保険を考える・保険で損しない法	222号	52. 9.
「保険は商品である」ということをめぐって	231号	53. 6.
生活設計における都市住民と農業者	237号	53. 12.
保険と“福祉”ならびに相互扶助	240号	54. 3.
保険審議会答申を通して、80年代の保険を占う	246号	54. 9.
年金・流動する現代の焦点	252号	55. 3.
熟年社会への挑戦	269号	56. 8.
業際競争の展開方向	300号	59. 2.
保険は反省を、共済は奮起	302号	59. 4.
業際競争の中での保険の対応・共済の対応	304号	59. 6.
金融自由化と共済事業	319号	60. 9.
生活設計と共済事業	329号	61. 6.
<書 評>		
西藤雅夫著『保険の経済理論』	19号	35. 12.
岡部寛之著『保険経済論』	25号	36. 6.
<アンケート回答文>		
共済・保険に関する諸意見	238号	54. 1.
保険学ゼミへどうぞ	259号	55. 10.
金融自由化と共済、ほか	307号	59. 9.
<随 筆>		
学者としての在り方	28号	36. 9.
最近の読書から	35号	37. 4.

山吹の里	44号	38. 1.
「好かれざる女神」としての保険	71号	40. 4.
鮎	151号	46. 11.
白ッ子	156号	47. 4.
福沢諭吉と勝海舟	174号	48. 10.
ヨーロッパより(書簡)	179号	49. 3.
ロンドンきのうきょう	191号	50. 3.
所変われば大学も変わる	197号	50. 9.
新潟県栽培漁業センター	214号	52. 1.
共済事業の活動に思う	226号	53. 1.
別府リハビリセンター見学記	232号	53. 7.
飯能の町, 農村の今と昔	243号	54. 6.
努力するという事	256号	55. 7.
成立した老人保健法の問題点	283号	57. 9.
また出た保険未来の論述	318号	60. 8.
組織の有難さを知れ!	322号	60. 12.
生き方にいろいろあり	331号	61. 8.
＜学会報告, 講演等＞		
公害と保険	162号	47. 10.
社会保障と私的保障	233号	53. 8.
第1回共済職員研修会報告	317号	60. 7.
＜座談会, 討論会等＞		
保険と共済の本質	8号	35. 1.
保険制度の在り方について(上)・(下)	21~22号	36.2.~3.
共済事業の特質について	23号	36. 4.
保険と共済の改善すべき課題から	27号	36. 8.
農協共済資金運用のあり方(上)・(下)	96~97号	42.5.~6.
協同組合の事業と国の事業の間	120号	44. 5.
都市化地帯の農協共済	127号	44. 12.
共済事業の特質について	144号	46. 5.
そうご・かぶしき・協同組合	173号	48. 9.
英国及びヨーロッパ人・社会・保険市場	196号	50. 8.
社会保障と疾病保険	221号	52. 8.
生命保険の表示適正化シンポジウム	262号	56. 1.
『インシュアランス 生保版』		
＜論文＞		
生命保険と生産性向上(上)・(下)	1823~1824号	32. 8.
保険本質論の新課題(上)・(下)	1927~1928号	34.9.~10.
保険政策論(上)・(下)	2116~2117号	38. 8.
保険学の対象と方法(上)・(下)	2122~2123号	38. 9.
新予備貨幣説の提唱	2468号	45. 10.

新経済段階での保険・共済業界と保険・共済行政	2724号	51. 1.
保険行政の本質とその体質転換	2737号	51. 4.
デノミと保険・年金	2812号	52. 10.
デノミ・保険損得考	2825号	53. 2.
保険は反省を, 共済は奮起を①～④	3109～3127号	59.1.～ 5.
保険は自重を, 共済は奮起を⑤～⑯	3132～3156号	59.6.～12.
もっと単純明解な保険を	3160号	60. 1.
保険教育の現場から	3183号	60. 7.
いま流行の自助努力とは	3193号	60. 10.
 <書 評>		
『保険学新講』について	1893号	34. 1.
大林長一教授の『保険理論』を読んで(上)・(下)	1994～1995号	36. 2.
『ソ連邦の保険』	2007号	36. 5.
 <アンケート回答文>		
生保企業の社会的責任	2614号	48. 10.
民間保険事業は助け合いの制度なのか	新年特集号'78	53. 1.
生保事業の国際化の現状をどうみるか	新年特集号'79	54. 1.
変額保険発売の評価と今後の新課題への認識	新年特集号'87	62. 1.
 <随 筆 等>		
米谷博士を偲ぶ	1861号	33. 5.
保険学者の道	2023号	36. 9.
真意は楽観論ではない	2466号	45. 9.
ショーペン・ハウエルにおける女・学者・保険	2824号	53. 1.
福祉のあり方を見直す時	2857号	53. 10.
 <学会報告, 講演等>		
保険業の経営規模と集中	2521号	46. 11.
情報化社会における保険の位置	2765号	51. 11.
日本短波放送「保険の広場」保険で損をしない法	2802号	52. 8.
社会保障と私的保障①～④	2850～2853号	53.8.～ 9.
社会教育と保険制度	2923号	55. 2.
時流が変わってきたと感ず	3003号	56. 10.
 <シンポジウム>		
生命保険表示適正化シンポジウム	2963～2967号	55.12.～56.1.
 『インシュアランス 損保版』		
<論 文>		
保険本質論の新課題(上)・(下)	1933～1934号	34. 11.
保険政策論(上)・(下)	2116～2117号	38. 8.
保険学の対象と方法(上)・(下)	2122～2123号	38. 9.

新経済段階での保険・共済業界と保険・共済行政	2724号	51. 1.
保険行政の本質とその体質改善（上）・（下）	2737～2738号	51. 4.
“デノミ”保険損得考	2825号	53. 2.
<書 評>		
「保険学新講」について	1893号	34. 1.
大林良一教授の『保険理論』を読んで	1984号	35. 11.
Φ・B・コーニンソン著，笠原長寿訳『ソ連邦の保険』	2005号	36. 4.
<保険学識者の見解を求めて>		
私的医療保険の今後のあり方	3157号	60. 1.
<随 筆 他>		
これからの暮らしと生活設計	2870号	54. 1.
笠原先生を偲ぶ	3004号	56. 10.
<学会報告，講演>		
公害と保険	2569号	47. 11.
福祉社会と損害保険	2611号	48. 9.
情報化社会における保険の位置	2765号	51. 11.
社会教育と保険制度	2923号	55. 2.
協同組合保険の課題と世界の協同組合保険に望むこと	3176号	60. 5.
<対 談>		
70年代の損保企業の経営戦略（上）・（下）	2585～2586号	48.2.～3.
'80年代の損害保険事業を占う(1)～(3)	新年特集号 '80～2918号	55. 1.
『セールスノート』		
<論 文>		
80年代における生活保障事業の役割とそのセールス活動1～6	178～183号	55.12.～56.5.
西暦2001年の社会保障1～6	244～249号	61.6.～11.
『優 績 者』		
<随 筆>		
転換制度を経験して	29巻1号	52. 1.
ある子どもの死	31巻1号	54. 1.
<講 演>		
21世紀の生命保険	38巻2号	61. 2.
<インタビュー，対談>		
行動する保険学者	35巻2号	58. 2.
変身する生保業界と販売のあるべき姿	39巻1号	62. 1.

『月刊 保険評論』

<論 文>

- 損害保険と生産性向上（その1）～（その3） 120～122 35.5.～7.
 保険の未来・保険会社の未来・保険会社員の未来 261 39. 10.

<随 筆>

- 新しい年の保険学を想う 169 38. 1.
 『一富士二鷹三茄子 一空気二水三野菜』 183 39. 1.
 鎌倉の春 290 47. 2.
 時の流れに思うこと 346 51. 11.

『週刊 東洋経済』

<論 文>

- 有名無実化の生産物賠償保険 No. 4079 53. 6.

<対 談>

- 高齢化とどうつきあうか? No. 4246 55. 9.

<書 評>

- 『生命保険業100年史論』宇佐見憲治著 No. 4543 59. 9.

『週刊 東洋経済（臨時増刊）生命保険特集』<座談会その他>

- 生命保険批判にどう応える! No. 3957 51. 8.
 保険知識があるとないではこれだけ差が出る No. 4028 52. 9.
 生命保険会社に合格するノウハウ全公開 No. 4028 52. 9.
 自分の老後にどこまで責任をもつべきか No. 4243 55. 9.
 トップセールスマン仕事・会社・人生を大いに語る No. 4321 56. 9.

『財 形』

<論 文>

- 年金的意味と機能をもつ勤労者の財産 7巻10号 53. 10.
 財形制度の基礎思想と制度発展の方向との関係 7巻12号 53. 12.
 高齢化の中での財形と税金 15巻5号 61. 5.

<講 演>

- 高齢化時代の社会保障と財形 10巻2号 56. 2.

<座 談 会>

- 生涯資産として財形と年金を考える 8巻4号 54. 4.
 提言・高齢化の中での財形と税金 15巻5号 61. 5.

『実業の世界』

<論 文>

- 社会保障プラス生命保険時代 69巻12号 47. 12.

インフレ時代と生命保険	70巻7号	48. 7.
なぜ保険ブームが今来つつあるのか	73巻10号	51. 10.
生命保険経営における<ディスクリージャーの意義>	77巻10号	54. 10.
『実業の日本』		
<論文>		
保険は将来、こう変貌していく	81巻19号	53. 10.
10年後は保険会社はこうなる	82巻21号	54. 11.
保険は人生を防衛しうるか	新春臨時増刊号	55. 1.
<対談>		
保険は生活防衛たり得るか	81巻19号	53. 10.
<その他>		
あなたの加入保険を診断します	81巻19号	53. 10.

6. 総合・一般雑誌等へ掲載の論文その他

『サラリーマンライフ』		
<論文>		
損害保険に強くなる①②	1巻7～8号	60.5.～6.
21世紀に備える生命保険①②	1巻9～10号	60.7.～8.
点検！生保・損保の新しい「医療保険」（都村敦子氏と共同執筆）	2巻9号	61. 7.

『週刊時事』

<随筆>

暮らしのデザイン 1～47 1286～1332号 60.4.～61.3.

ボケ防止はお題目で、お金一限りなく魅力的で危険なもの、ロボットが生み出す問題、あなたは中間階級ですか、教育費増加の中で…、なぜ高齢化社会になるか、現代学生事情、医療費の一部自己負担、第三次産業時代、諸物価・料金値上げ時代、大きく変わる保険業界(1)～(3)、外国人の見た日本、女性の“美しさ”談義、お金を貯める方法、性善説と性悪説、年金改正の問題点(上)・(下)、日米貿易摩擦は軽視すべからず、経済学で神を感じることもある、保険セールスマンの虚像と実像、持ち家か借家か、変わった保険はいかがですか、入試における筆記試験と書類選考、経済白書と福祉の将来、外で働く女性が過半数、新しい社会問題の発生、インフレで保障目減りは本当にするか、ペット飼育損得考、年金老若戦争、“いじめ”にも各種あり、重くなるぞ！国民負担、世相の中での経済分析(上)・(中)・(下)、新しい年の生活設計、日本的経営の見直しを再評価、離婚恐るべし、本屋さん頑張るって、福祉施設を見学して、家庭医問題をめぐって、女性の時代とはいかなる時代か？、国立劇場、補足から補完へ、グルメ gourmet、終わり良ければすべて良し

『朝日ジャーナル』

<企業紹介>

日本産業の展望『生命保険・朝日生命』	536号	44. 5.
審査評(<生命保険会社は現代の社会にどのように貢献していると考えますか。またいかにあるべきでしょうか>)の懸賞論文)	683号	47. 4.

『価値ある情報』(ダイヤモンド社)

<論 文>

社員総代会に大衆の声を反映させよ	12巻7号	50. 7.
喜ばしい損害保険料率引き下げ	13巻3号	51. 3.

『中央公論』

<論 文>

中高年のための家計学 あなたの生活保障は大丈夫か	1122号	55. 6.
--------------------------	-------	--------

<対 談>

壮年からの老後設計を考える	1112号	54. 11.
---------------	-------	---------

『自由民主』

<論 文>

特集 高齢化社会を考える 自分の老後に責任持とう	298号	55. 11.
熟年社会への挑戦 中間階級の熟年層が楽しめる社会環境作り	343号	56. 9.

『公 明』

<論 文>

転換点を迎えた医療保障	263号	58. 12.
流れは変わった	273号	59. 10.
新世紀の「社会保障」考	297号	61. 10.

7. 広報誌等へ掲載の論文その他

『共 済 新 報』

<論 文>

		(昭和年月)
家庭経済学と社会保障	3巻7号	37. 7.
社会保障の歴史①～⑤	6巻3～8号	40.3.～8.
年金問題・今年の課題	9巻1号	43. 1.
農民年金の構想とその問題点	10巻3号	44. 3.
現代医療保障の課題	11巻8号	45. 8.
保険医総辞退は医療保障にいかなる今後の課題を提起したか	12巻10号	46. 10.
国民医療論と医療保険	14巻1号	48. 1.
イギリスの社会保障とその土壌①～③	16巻6～8号	50.6.～8.
新しい対応を求められる社会保障	18巻1号	52. 1.
福祉と保障を新しく把握する	20巻1号	54. 1.
出揃った各審議会の年金意見書	20巻11号	54. 11.
年金をめぐる新動向	21巻1号	55. 1.
揺れ動く社会保障と今後の課題	21巻6号	55. 6.
81年の年頭に年金問題を思う	22巻1号	56. 1.
'82医療保障問題展望	23巻1号	57. 1.
高齢化の中での医療と年金	23巻3号	57. 3.
年金問題展望	24巻1号	58. 1.
雇用者と被用者の意味の混乱について	24巻6号	58. 6.

昭和59年・医療保険問題展望	25巻1号	59. 1.
社会保障—その“いま”と“これから”	26巻1号	60. 1.
医療保険問題展望—改革の内容をふまえて新しい対応へ—	27巻1号	61. 1.
成長する企業年金	27巻8号	61. 8.
昭和62年・年金問題展望	28巻1号	62. 1.
<その他>		
今井一男先生を偲んで	27巻9号	61. 9.
『くらしと保険』		
<論文>		
保険審議会答申によせて	183号	50. 8.
生命保険 昔と今と	214号	53. 3.
消費者のための生命保険講座①～⑫	232～244号	56.4.～58.4.
①社会の歩みと生命保険 ②保険思想の変化と生命保険 ③生命保険の仕組みと特徴 ④生命保険の種類		
⑤生命保険とその周辺 ⑥社会保障と生命保険 ⑦家庭の中での生命保険 ⑧産業としての生命保険 ⑨		
生命保険の上手な活用 ⑩生命保険のトラブル防止法 ⑪欧米の生命保険, 日本の生命保険 ⑫生命保険		
の将来		
<座談会>		
女性の生活と生命保険	242号	57. 12.
『健康保険』		
<論文>		
わが国の社会保険発達の一側面(1)・(2)	9巻10～11号	30.10.～11.
医療保障における保険性について	20巻4号	41. 4.
「社会保障的保険」論と「保険的社会保障」論	23巻3号	44. 3.
社会保障の原点とそれへの近接の理論	25巻3号	46. 3.
医療過誤と医療保障	26巻5号	47. 5.
医療保障における受益者負担の効果と限界(上)・(下)	31巻4号	52.3.～4.
“医療費適正化”の内容と方向	37巻1号	58. 1.
今後の医療保障を考える<3>供給面・供給側よりする医療費抑制策を	38巻7号	59. 7.
『生命保険協会会報』		
生命保険消費者論(上)・(中)・(下)	57巻2号～	51. 5.～
	58巻1号	52. 1.
公的年金の改正に関する各意見書の内容と問題点	60巻2号	54. 5.
『全共連季報』		
<論文>		
保険の未来像	6号	43. 10.
保険行政の問題点とその在り方	9号	44. 7.
「昭和50年代にのぞむ農協共済」に関する批判への私見	15号	46. 冬

共済団体の動向① 中小企業と火災共済の動向	17号	46.	夏
私の農協共済論	24号	48.	冬
『農 林 年 金』			
<論 文>			
社会保障の未来像	11巻1号	44.	1.
農林年金の新掛金率案決まる 千分の11アップにとどまる	23巻2号	56.	2.
臨時行政調査会と年金改革案をめぐって “小さな政府” 中の “大きな年金” その中での民主性の堅持を	24巻6号	57.	6.
21世紀の公的年金を考える	25巻9号	58.	9.
公的年金改正の路線とその構造	26巻5号	59.	4.
<座 談 会>			
年金改革	29巻1号	62.	1.
『漁 業 信 用 保 証』			
<論 文>			
中小漁業融資保証保険の保険学的考察	17号	44.	12.
<そ の 他>			
庭田教授のとりまとめの概要	20号	48.	3.
庭田教授の中小漁業融資保険の問題点とその解決方向の概要	20号	48.	3.
『都 市 生 協』			
<論 文>			
共済の経済的本質とその機能	25号	46.	10.
イギリスと日本の共済保険	41号	50.	10.
精神としての共済と制度としての共済	48号	53.	1.
『予 防 時 報』			
<論 文>			
損害の経済学	90号	47.	7.
<講 演>			
福祉と損害保険	95号	48.	10.
『相 互』(第一生命保険相互会社)			
<講 演>			
知識産業・生命保険の未来を占う	No. 57	48.	11.
消費者と業界人の接点としての消費者の啓発	No. 717	59.	12.
<対 談>			
'80年代・輝ける未来に向けて	No. 658	55.	11.

『損害保険資料』

<講演>

高校生のための損害保険講演会	No. 71	48.	3.
福祉社会と損害保険	No. 74	48.	9.
新しい社会を迎えての損害保険の新しい動向	No. 90	51.	7.
私達をとりまく危険とその対処	No. 111	55.	3.
現代社会における生活と保障	No. 114	55.	7.

『企業と厚生福祉』（国鉄厚生事業協会）

<論文>

社会保障における成長と福祉	6号	48.	3.
西欧福祉見聞記	11号	50.	9.
ガン保険と成人病保険のうらおもて	13号	51.	9.

『生命保険修士会会報・信』

<論文>

「保険は商品である」と言う事をめぐって	3号	53.	3.
最近のわが国の公的年金問題寸見	8号	58.	5.
保険学の学際競争—保険学者と社会保障学者の闘争—	10号	60.	10.

<随筆等>

真剣に考えるべきこと、鎌倉十二景	7号	57.	5.
良い先生と悪い先生、第10期生の卒業を祝して	9号	59.	10.

『みついらいふ』

<論文>

80年代を通してみる生命保険事業の経営環境	No. 137号	55.	1.
-----------------------	----------	-----	----

<座談会>

これからのくらしと生命保険	No. 125号	54.	1.
---------------	----------	-----	----

『東京の国保』

<論文>

医療保険と再保険の問題	226号	54.	2.
医療保険制度改正の問題点とその展望	234号	54.	10.
老人保健医療制度の基本的なあり方	240号	55.	4.
56年度政府予算と社会保障	251号	56.	3.
行政改革と社会保障	257号	56.	9.
社会保障を総合的に見る姿勢	265号	57.	5.
老人保健法施行への問題点	270号	57.	10.
高額医療費共同事業をめぐって	276号	58.	4.
問題を抱える医療保障とその解決方向	279号	58.	7.
医療保険制度の改正と財源負担問題	282号	58.	10.
医療保険制度改革の内容と意味するもの	288号	59.	4.

21世紀の社会保障を展望する	298号	60. 2.
社会保険改正と民間保険開発	304号	60. 8.
老人保健制度と退職者医療制度のあり方をめぐって	308号	60. 12.
欧米と日本の医療を考える	315号	61. 7.
 <アンケート回答文>		
昭和56年によせる夢・期待, 思い出に残る正月, 私の健康管理	249号	56. 1.
今年ぜひやってみたいこと (やり遂げたいこと), 思い出に残る (ひと, 旅, 本) いずれか一つ	273号	58. 1.
 <随 筆>		
「人不知而不愠」の社会保障	261号	51. 1.
日本と西欧の比較随筆	322~327号	62.2.~62. 7.
(1)海の向こうの福祉お国ぶり (2)国内・国外における保守・革新 (3)それぞれの国にさまざまな食べ物 (4)老人と子どもをめぐる海の“向こう”と“こちら” (5)西欧の家と住み方, 日本の家と住み方 (6)麗 しく愛しの女性“こちら側”と“あちら側”		
 『埼玉の国保』		
<論 文>		
社会保障を総合的に見る姿勢	40号	57. 6.
わが国医療保障と国保問題①~③	48号	58.8.~12.
医療保障の将来展望と国保問題	57号	59. 12.
昭和60年度予算案と医療保障	59号	60. 2.
老人保健制度と国民健康保険	67号	61. 4.
保険における抑止機能と国民健保	70号	61. 10.
老健法改正後の医療保険とその将来展望	74号	62. 4.
 <講 演>		
高齢化の進行と社会保障	特別号	58. 6.
 『公 済 時 報』		
<論 文>		
“社会の危機”と“年金の危機”	318号	54. 4.
老人保健医療対策の動向と問題点	338号	56. 1.
公的年金の財政を考える	351号	57. 2.
厚年改正意見書と共済年金のあり方	370号	58. 9.
深刻化する社会保障の諸問題とその新しい対応策	374号	59. 1.
年金財政の仕組について	382号	59. 9.
国民年金改正と新年金時代の発足	390号	60. 5.
生活を支える医療保障の問題と課題	406号	60. 9.
 『くらしのちえ』(貯蓄増強中央委員会)		
<論 文>		
新しい時代に向けての生活設計	125号	54. 6.

青年の生活設計	167号	61. 6.
『基金連合会だより』		
<論 文>		
高齢化社会の到来に備え年金制度はいかにあるべきか (上) ・ (下)	No. 146~147	54.10.~12.
企業年金の現状と課題 (前) ・ (後)	No. 171~172	56.12.~57.1.
『生活の設計』		
<論 文>		
これからの社会と生活設計	103号	57. 12.
現代生活と今後の貯蓄運動	109号	58. 12.
生活設計の効果的な勧奨法	112号	59. 6.
21世紀に向けての生活設計—新視点と新提案—	117号	60. 4.
『企業年金』		
<論 文>		
厚生白書をこう読んだ	10号	58. 11.
<シンポジウム等>		
これからの企業年金	34号	60. 1.
企業年金シンポジウム	57号	61. 10.
<座談会>		
企業年金研究会報告を読んで	5号	57. 8.
『飛 躍』(千代田生命保険相互会社広報部)		
<論 説>		
未来予測はだから楽しい	No. 868	59. 6.
保険を譬えて言ってみれば	No. 875	59. 10.
冷やりとした話	No. 881	60. 3.
心の保険も	No. 885	60. 7.
69%	No. 889	60. 11.
物価安定にも違った見方	No. 894	61. 4.
昔・家訓, 今・経営理念	No. 898	61. 8.
どうかしている“年金課税強化”案	No. 902	61. 12.
『女性関係各誌』		
ミセス——「ミセスにできるマネープラン(保険)」	通巻第243号	53. 8.
婦人と暮し——「首相がデノミをしたがるわけ」	通巻第41号	53. 11.
主婦の友——「あなた自身の80年代(インタビュー)」	第63巻第1号	54. 1.
主婦と生活——「まい, 女性専用保険が続々(インタビュー)」	第39巻第8号	59. 8.
LEE——「『生命保険』知らないあなたは損をしている」	第4巻第10号	61. 10.

8. その他論文等（発表年月順）

＜論 文＞	（昭和年月）
生産性向上運動と保険経営 『経営セミナー』 3巻9号, 経営書房	33. 10.
最終負担者は国民生産性 『福祉国家』 No. 42, 福祉社会研究会	40. 9.
農協共済の未来像と今後の課題 『農業と経済』 36巻11号, 富民協会	45. 11.
厚生年金保険法の改正をめぐる 『くらしの年金』 5号, 日本熱機器工業厚生年金基金	48. 4.
70年代の年金政策 『私学共済』 9巻9号, 学園書房	48. 9.
豊かな社会をいかに達成しいかに守るか 『そんがいほけん』 No. 1, 日本損害保険協会	48. 12.
揺れる“ゆりかごから墓場まで” 『一』 7号, 第一生命保険相互会社	50. 9.
イギリスにおける経済的保障の体系と問題点（上）・（下）『書齋の窓』 245号・247号, 有斐閣	50.9.～11.
変転するイギリスの社会と揺れ動く社会保障 『社会保険と労務』 11巻11号, 日本社会保険労務士会	50. 11.
現代人と社会保障 『社会保険委員』 No. 23, 東京都民生局	52. 3.
「保険を考える」—保険で損をしない法—日本短波放送「保険の広場」 7月22日放送分	52. 7.26.
50代は老後を考えて年金プラン 『週刊ダイヤモンド』 別冊, ダイヤモンド社	53. 6.
損害保険経営の基本理論（上）・（下） 『損保企画』 38～39号, 損害保険企画	53.6.～7.
「生活設計」の現状と将来展望 『月刊アドバタイジング』 電通	53. 11.
西欧の風土と“保障”思想 『山形県—農協の共済』 No. 189, 山形県共連	54. 1.
これからの暮らしと生活設計 『消費生活センターニュース』 91号, 広島県立消費生活センター	54. 1.
生命保険資本の社会的位置と長期戦略 『労済だより』 No. 90, 全労済	54. 1.
交通事故と交通道徳 『明るい旅』 92号, 交通道徳協会	54. 3.
交通安全のための交通道徳①～⑩ 『交通安全教育』 14巻4号～15巻3号, 日本交通安全教育普及協会	54.3.～55.2.
老残の身にならないための経済学 『富士へるす』 No. 5, 富士へるす事務局	54. 8.
60歳定年時代の生活設計 『季刊フォーラム』 1979年秋季号, 総合労働研究所	54. 9.
企業経営を生かす企業年金の活用 『経営法務』 41号, 日本法務士会	54. 10.
80年代の保険経営は一発展か停滞かの岐路に 『週刊金融財政事情』 1442号, 金融財政事情研究会	54. 11.
生命保険の必要性和効果的利用を考える 『消費者だより』 27号, 大田区消費者コーナー	54. 12.
勤労者の生活設計をめぐる財形と年金 『財形福祉』 6巻4号, 財形福祉協会	55. 4.
高齢化社会に対応すべき新しい『日本型福祉』とは… 『レクリエーション』 239号, 日本レクリエーション協会	55. 9.
年金における公的努力と企業努力 『LDノート』 No. 369, 総合労働研究所	55. 12.
生活優先社会と生命保険 『日本自身』 4巻4号, 日本自身社	55. 12.
私の農協共済論 『きかん』 3号, 全国共済農業協同組合連合会	56. 2.
熟年世代よ自信を持って! 『正論』 94号, サンケイ出版	56. 8.
山場を迎えた福祉改革 『革新』 136号, 民社党	56. 11.
高齢化社会の現状と将来 『自由』 266号, 自由社	57. 3.
森林保険におけるマーケティング活動 『森林保険研究会報』 34号, 森林保険研究会	57. 7.
高齢化時代の年金問題 『地方議会人』 13巻4号, 全国町村議会議長会	57. 9.
勤労者の老後に向けての生活設計 『厚生指標』 29巻10号, 厚生統計協会	57. 9.
揺れ動く年金事情とその今後 『でんでん共済』 No. 48, 日本電信電話共済組合	57. 9.
日本型老後は期待できるか 『季刊マネジメントジャーナル』 No. 34, 日本経営出版会	57. 10.

- 社会保障の仕組みと問題点 『月刊経営者』36巻11号, 日本経営者団体連盟 57: 11.
 迫りくる老後生活に備えての財形年金 『増刊中央公論シニア読本』1159号, 中央公論社 57: 12.
 年金の話 『婦人百科』214号, 日本放送出版協会 58: 1.
 日本の経済の進路と共済事業の課題 『共済だより』111号, 宮城県共済連 58: 1.
 農業環境の変化と農協経営の刷新 『農協トップインフォメーション』19号,
 全国新聞情報農業協同組合連合会 58: 4.
 年金の社会経済的機能と効果 『ねんきん』24巻5号, 全国社会保険協会連合会 58: 5.
 提言・農協の役割(上)・(下) 『評論』48~49号, 日本経済評論社 58: 7.~11.
 社会保障の問題点とその将来路線 『労働レーダー』7巻12号, 労働問題研究会議 58: 12.
 高齢化社会と年金制度 『かんぽ資金』No. 67, 簡保資金研究会 58: 12.
 今後の年金のゆくえ 『Y. C. C. ニュース』132号, 横浜コンシューマーズ・クラブ 59: 2.
 この保険なる不可思議な制度の利用法 『研修』No. 432, 法務総合研究所 59: 6.
 経済動向と生命保険 『展望』31巻4号, 簡易保険郵便年金加入者協会 59: 7.
 長寿化の中での生活と年金 『ねんきん基金』No. 14, 西日本電機販売厚生年金基金 59: 10.
 今を充実させるための共済 『きずな』21号, 警察職員生活協同組合 59: 10.
 これからの老後はなに色? 『基金だより』3号, 全国住宅地開発厚生年金基金 59: 11.
 給付と負担の経済学—主として福祉の追求をめぐる— 『ねんきん』26巻2号,
 全国社会保険協会連合会 60: 2.
 経済変化の中での社会保障と貯蓄 『貯蓄と経済』No. 143, 日本銀行貯蓄推進局 60: 3.
 年金問題からみる高齢化社会の展望 『月刊レジャー産業資料』No. 212, 総合ユニコム 60: 9.
 労災保険の構造をめぐる二つの問題点 『月刊ろうさい』36巻9号, 労働福祉共済会 60: 9.
 どうなる? 改正後の新年金と企業年金 『DAIDO年金ニュース』No. 1, 大同生命保険相互会社 60: 9.
 公的年金制度の改正とその一元化問題 『関西経協』39巻12号, 関西経営者協会 60: 12.
 保険—無視せんとして無視しえないもの— 『本』10巻12号, 講談社 60: 12.
 現代ヤングの生活行動—わが国のヤングは何を目指しているか— 『信用金庫』40巻8号,
 全国信用金庫協会 61: 8.
 企業年金市場の展望と銀行参入 『銀行実務』16巻12号, 銀行研修社 61: 9.
 求められる新しい教育内容とは—職業教育を中心に据えて— 『産業教育』36巻10号, 全教図 61: 10.
 どうなる老人保健・退職者医療? 『すこやか』冬, 社会保険法規研究会 61: 11.
 公的年金課税問題をめぐって 『年金の友』No. 65, 東京都厚生年金受給者協会 61: 11.
 わが国の家計貯蓄率事情 『経済と労働』61・労働特集I, 東京都労働経済局 61: 11.
 新年の医療保障と健保組合の対応 『HEALTH』No. 36, ミサワホーム健康保険組合 62: 1.
 総合化か特化か選択迫られる生保の経営戦略 『月刊金融ジャーナル』28巻2号,
 金融ジャーナル社 62: 2.
 “取りっぱぐれない”という医師は濃厚診療に走りはしないか 『月刊けんぽ』28巻2号,
 社会保険法規研究会 62: 2.
 21世紀に向けての福祉社会の建設 『教育時報』454号, 岡山県教育広報協会 62: 6.
- <随 筆>
- 俳句五首 『都南俳壇句集』朝日PRセンター 42: 4.
 古きよき時代 『明治生命三田会よりの依頼で寄稿』 51: 6.
 私の健康法 『ほうむ・めいと』3巻1号, 団地友の会事業センター 53: 4.
 センター職員諸氏の努力を思う 『生命保険文化センター5年の歩み』生命保険文化センター 57: 3.
 蛇 『年金時代』10巻13号, 社会保険研究所 57: 10.
 生きざまと死にざまの接点 『季刊 マネジメントジャーナル』No. 35, 日本経営出版会 58: 1.

- 『甲子句集』を読む 『老壯の友』26巻12号, 日本老壯福祉協会 59. 11.
 年金時代のわれらが生き方 『年金時代』182号, 社会保険研究所 61. 1.
 これから「地方の時代」がくる 『経済月報』96号, 千葉経済センター 61. 9.
 職業人の学習は何に役立つか 『生保講座通信』5号, 生命保険協会 62. 1.

<学 会 報 告>

- 第2回・日本社会保障法学会報告 公的年金と私的年金における調和と競合 『賃金と社会保障』
 No. 865, 労働旬報社 58. 5.

<国会公聴会会議録>

- 第98回参議院予算委員会第1号(社会保障についての報告・発言) 58. 3.22.
 第101回衆議院社会労働委員会第1号(健康保険法等の一部改正についての報告・発言) 59. 7. 4.
 第108回参議院予算委員会第1号(社会保障についての報告・発言) 62. 5.14.

<講 演>

- 研究発表会講評 『SIGURARE』東京学生保険ゼミナール 41. 11.
 老後保障とわが国高度成長経済 『企業年金の研究講座 高度成長下における企業年金の方向
 と課題』福利厚生研究会 45. 10.
 これからの生保経営はこれだ 『あゆみ』104号, 日本生命保険相互会社 47. 6.
 講評 『昭和48年度第2回懸賞論文入賞作品 福祉国家への路線の中で生命保険会社に期待す
 るもの』千代田生命保険相互会社 48. 6.
 福祉社会と損害保険 『代理店ニュース』No. 238, 東京海上火災保険株式会社 48. 12.
 協同組合保険の現状と問題点 『漁村』42巻7号, 漁村文化協会 51. 7.
 イギリスにおける保険事業の諸特性と問題点 『文研月報』No. 58, 生命保険文化研究所 52. 1.
 大衆化路線を歩む損保経営と代理店のあり方 『日火代理店ニュース』No. 166,
 日本火災海上保険株式会社 52. 1.
 ゆれ動く損保市場と代理店の使命 『興亜だより』115号, 興亜火災海上保険株式会社
 (『興亜ニュース』No. 160にも収載) 53. 9.
 社会と共済 『教弘通信』20巻1号, 日本教育公務員弘済会 54. 1.
 80年代に向けての保険業界の動向と将来 『L'esprit』Vol. 27, UNIVAC 55. 1.
 生命保険料の仕組み 『ファミリーレポート』No. 5, アメリカンファミリー生命保険会社 55. 12.
 80年代における年金の動きとセールスの対応の仕方(正)・(続) 『日産』570~571号,
 日産生命保険相互会社 56.5.~6.
 年金保障の展望と課題 『農協の年金—「いきがい」をすすめるために』埼共連 56.
 経済動向と商業教育 『愛知の商業教育』22号, 愛知県商業教育振興会 57. 2.
 高齢化社会と社会保障制度 『老人問題』7巻1号, 老人福祉開発センター 57. 7.
 高齢化社会を生きぬく女性へのアドバイス 『あゆみ』231号, 日本生命保険相互会社 58. 2.
 現代の商業教育に求められているもの 『徳島の商業教育』20号, 徳島県商業教育協会 58. 3.
 社会保障の課題 『文研月報』No. 132, 生命保険文化研究所 58. 3.
 競争原理導入の中で生保セールスマンの生き方 『会誌』36号, 認定生命保険士会 58. 5.
 企業年金を中心とした年金制度の動向について 『たん・れん』No. 36,
 東京地区単独・連合厚生年金基金協議会 58. 8.
 年金問題の現状と展望 『経済人』37巻12号, 関西経済連合会 58. 12.
 医療保障の動向と将来展望 『宮城の国保』136号, 宮城県国民健康保険団体連合会 59. 1.
 21世紀へ向けての経済構造と社会保障の展望 『第31回全国市議会職員研修会講義集』

	全国市議会議長会	59. 2.
転機に立つ社会保障 『AGING』39号, 中央法規出版		59. 3.
高齢化社会における年金制度のあり方 『企画情報』No.12, 川崎市		59. 3.
老後を考える—老後の経済学 『家庭科教育』58巻14号, 家政教育社		59. 11.
金融革命と共済事業 『とちぎの共済』95号, 栃木県共済農協連		60. 1.
暮らしの中の危険とその対処 『高校教育資料』No.143, 日本損害保険協会		60. 5.
特別講演・社会福祉と社会教育 『昭和61年度・高校社会科紀要』 栃木県高等学校教育研究会部会		62. 3.
高齢化社会と行政の対応 『スタディ “えひめ” PART18』愛媛県研修所		63. 3.
＜インタビュー, 対談, 座談会等＞		
相互組織の考察—世論に依って 『月刊生保社員総代報』7月号, 日本文献資料研究所		40. 7.
お元気ですか, こんにちは 『やまびこ』17号, 第一生命保険相互会社		48. 11.
生命保険と国民福祉 『日経ビジネス』169号, 日経マグローウヒル社		51. 8.
これからの損害保険はどのように進んで行くべきか 『東海月報』No.260, 東京海上火災保険株式会社		51. 11.
損害保険の社会に果たす役割 『代理店ニュース』No.273, 東京海上火災保険株式会社		51. 11.
高齢化社会を迎え本格的年金時代に突入 『あゆみ』202号, 日本生命保険相互会社		55. 9.
自分の老後にどこまで責任を持つべきか 『教育資料くらしと保険』No.17, 生命保険文化センター		56. 1.
生命保険における取引条件と表示の適正化 『国民生活』11巻3号, 国民生活センター		56. 3.
この人に聞く—庭田範秋氏 『書香』303号, 日本墨書会		56. 6.
農村の老後保障と年金共済 『農協の年金—「いきがい」をすすめるために』埼共連		56.
私はこう見るⅡ—オアシス共済会の生成と将来 『電通週報』1150号, ニュース・ニッポン社		57. 11.
海外広報力あなたの会社は? 『第3回(昭和57年度)英文広報刊行物コンクール報告書』 経済広報センター		58. 2.
熟年のための生活設計 『熟年』4月特別増大号, 総合研究開発機構		58. 4.
農村の老後保障と年金共済 『共済季報』4号, 全国共済農業協同組合連合会		58. 4.
これからの生命保険 『ポスト』21巻5号, 郵政省		59. 5.
新保険の知識 『まいたいむ』33号, 近鉄百貨店		60. 9.
老後の備えに欠かせないサラリーマンの財形貯蓄への課税は時代に逆行 『日経マネー』11号, 日本経済新聞社		61. 10.
これからの企業内福祉と「財形貯蓄」を考える 『ウィズ・レインボー』'86秋季号, 労働金庫連合会		61. 10.
「ペンションナリゼーション」の時代 『第一生命・年金レポート21』創刊号, 第一生命保険相互会社		62. 1.

9. 新聞へ掲載の論説その他

日本経済新聞 社会の要請にこたえる生命保険 (51.8.5) ; 「安心」を売る保険の大任, 資金配分などに工夫 (51.11.5) ; 大型保障に再生 (52.2.3) ; 企業年金の新時代を探る (55.6.30) ; 熟年シンポジウム (56.1.1) ; 厚生・労働両省は統一見解を (56.8.27) ; 余裕ある人生は“個性的な”生活設計から (56.11.29) ; 第2回熟年シンポジウム (57.1.1) ; どうする国鉄3 共済年金“バンク”寸前 (57.3.13) ; 第3回熟年シンポジウム (58.1.1) ; 日欧の社会にみる老人と若者の問題 (58.1.18) ; 熟年シンポジウム (59.1.1) ; 衆院社労委で意見陳述 (59.7.4) ; 企業年金の未来像 (61.11.26)

朝日新聞 医療保険発売見送り (5.12.6) ; 「医療保険」は流産 (52.12.7) ; 生活設計を考える「アリ

- とキリギリス」論争 (53.10.30) ; “腕” 試される生保 変額保険 (61.8.28)
- 毎日新聞 保険に正しい認識を (45.11.5) ; 国際化時代迎えた保険業界 (51.10.25) ; しあわせな明日のために 国際老年学会議に寄せて (53.8.23) ; 生活保障セミナー (58.3.6) ; 豊かな高齢化社会へ (60.11.21)
- 読売新聞 実年の生活設計 ('87 健康科学フォーラムから) (62.5.23)
- サンケイ新聞 高齢化社会の年金 (55.10.30) ; 老人医療費 急激な負担増サラリーマンには酷 (61.3.27)
- 世界日報 医療保険制度改革の行方 (58.11.23) ; 急務の医療保障制度改革 (59.4.27) ; 健保法改正の意味 (59.9.12) ; 老人保健をめぐる今後の動き (60.4.11) ; 年金法改正の妥当性 (60.7.2) ; 老人保健法改正の意義と課題 (61.10.30)
- 東京新聞 生命保険に関する論説 (51.9.11, 53.4.29, 55.9.17) ; 生活設計に関する論説 (53.8.13, 57.5.12) ; 団地保険に関する論説 (54.2.27) ; 日本型福祉に関する随筆 (55.5.23)
- 北海道新聞 老後問題に関する講演 (52.11.8, 54.11.26, 61.6.4)
- 東奥新聞 高齢化社会と暮らしに関する論説 (55.8.4~8)
- 山形新聞 主婦の経済観念に関する随筆 (52.3.3) ; 年金と老後問題に関する論説 (52.3.17, 58.7.8) ; 生活設計に関する随筆 (58.8.3)
- 岩手日報 生活設計に関する講演 (52.9.27, 61.8.19)
- 河北新聞 熟年社会に関する論説 (52.10.18, 56.5.4~5, 56.5.10, 56.5.18, 56.12.9) ; 熟年社会と生活設計に関する講演 (56.5.25) ; 公的年金と老後問題に関する講演 (57.2.25) ; 財形年金に関する論説 (57.11.12 [夕刊]) ; 女性のための年金学に関する講演 (58.7.24)
- 新潟日報 年金に関する論説 (56.10.7)
- 信濃毎日新聞 生命保険に関する論説 (60.9.4) ; 女性のための年金学に関する論説 (60.9.15) ; 女性のための年金学に関する講演 (60.9.30)
- 北国新聞 老後問題に関する講演 (54.10.27) ; 女性のための年金学に関する講演 (56.4.28, 60.5.29)
- 福井新聞 生活設計に関する論説 (54.10.26) ; 老後問題に関する論説 (56.5.12, 60.6.4)
- 茨城新聞 高齢化社会に関する講演 (54.12.4)
- 山梨日日新聞 生活設計に関する論説 (54.6.27) ; 女性のための年金学に関する論説 (56.10.10, 60.9.25)
- 静岡新聞 生活設計に関する講演 (52.9.29) ; 女性のための年金学に関する講演 (59.7.12)
- 中日新聞 女性のための年金学に関する講演 (59.10.23)
- 中部経済新聞 福祉とくらしに関する講演 (52.11.24) ; 個人年金に関する論説 (55.3.27)
- 京都新聞 女性のための年金学に関する講演 (55.9.29) ; 新年金制度に関する講演 (61.10.19)
- 山陰中央新報 高齢化社会に関する講演 (61.6.15)
- 日本海新聞 老後問題に関する論説 (52.11.10)
- 新日本海新聞 女性のための年金学に関する講演 (58.11.12)
- 神戸新聞 生活設計に関する講演 (53.1.10, 61.10.14)
- 中国新聞 生活設計に関する講演 (52.7.29) ; 生活設計に関する論説 (52.11.24)
- 徳島新聞 生活設計に関する論説 (52.5.2)
- 愛媛新聞 生活設計に関する論説 (52.3.17)
- 四国新聞 生活設計に関する論説 (52.5.17) ; 女性のための年金学に関する論説 (58.2.27, 58.3.6)
- 佐賀新聞 生活設計に関する講演 (52.6.15) ; 高齢化社会に関する論説 (57.6.28)
- 大分合同新聞 生活設計に関する講演 (54.9.19) ; 女性のための年金学に関する講演 (58.4.27)
- 長崎新聞 生活設計に関する論説 (52.6.22) ; 年金に関する講演 (57.5.29) ; 高齢化社会に関する論説 (57.6.4 [夕刊])

- 熊本日日新聞 生活設計に関する座談会 (51.11.13)
- 宮崎日日新聞 生活設計に関する論説 (56.12.27) ; 高齢化社会に関する講演 (58.4.19)
- 南日本新聞 高齢化社会に関する論説 (54.3.20) ; 生活設計に関する論説 (57.11.24 [夕刊])
- 琉球新聞 生活設計に関する論説 (52.11.25 [夕刊]) ; 高齢化社会に関する論説 (54.11.2 [夕刊])
- 保険読売 保険に関する論説 (52.8, 53.6, 57.1, 58.11) ; 生命保険『助け合い論』をめぐって——現実より動かす理想とパワーは—— (53.1) ; 年金に関する論説 (55.12) ; 国際会議における発言 (57.1)
- 保険毎日新聞 生命保険に関する論評 (53.8.14) ; 保険行政に関する意見 (54.2.21)
- 週刊自動車保険新聞 自動車保険に関する発言 (61.11.19, 61.11.26)
- 公明新聞 医療保険に関する論説 (58.9.22~10.1) ; 生活保障に関する論説 (59.11.17) ; 老後保障に関する論説 (59.11.20~12.4) ; 生活設計に関する論説 (60.6.13~7.15)
- 今週の日本 高齢化社会に関する提言 (55.9) ; 生活設計に関する論説 (56.3) ; 年金に関する意見 (56.11)
- 国保新聞 健保法改正に公聴会に関する発言 (59.7.10)
- 国民年金弘報 年金問題に関する対談 (56.3, 56.12) ; 年金改正に関する提言 (57.4, 57.10, 59.2) ; 年金制度に関する講演 (60.10, 61.10)
- 社会保険推進連盟 医療保険に関する論説 (57.11.20)
- はげん東京 医療保険財政に関する論説 (46.11) ; 福祉問題に関する随筆 (54.4~10) ; 医療保険に関する論説 (60.12~61.5)
- 健保連・東京連合会報 社会保障に関する論説 (59.3) ; 健保法改正に関する論説 (59.9)
- 健保連・東京支部報 社会保障に関する論説 (34.11) ; 老人保健制度に関する論説 (55.9, 56.10, 57.6, 57.9)
- すこやか健保 健保制度に関する講演 (61.3.1)
- 日本農業新聞 農協共済に関する論説 (46.6.30, 47.7.12) ; 退職年金共済に関する対談 (57.11.29)
- 東京通信 生保セールスマンに関する講演 (62.4.15)
- 富山宅建会報 現代不動産業に関する論説 (47.5)
- 進研新聞 社会保障学の紹介に関する論説 (56.12)

追録 (論文, 論評, その他) (発表年月順)

(昭和年月日)

- 社会保険改正と被害者事故対策 『文部省科学研究「交通災害」特定研究・交通災害の抑止と補償に関する学際的研究——1985年度研究成果——研究報告概要』保険毎日新聞社 61. 12.
- 高齢化社会における企業年金の役割 『基金だより』21号 62. 4.
- 21世紀に向けて・生保セールスマンの生き抜く道 (上)・(下) 『保険セールス』25巻4~5号 62.4.~5.
- 21世紀に向けて生保セールスマンの生き抜く道・2月セミナー特集 『東京通信』 62. 4.
- 年金給付再検討を——内需・税制6氏が公述, 参院予算委公聴会開く—— 『朝日新聞』 62. 5.15.
- 国債発行し積極財政を・参院公聴会で公述人陳述 『日本経済新聞』 62. 5.15.
- 社会保障についての公述 『第108回国会・参議院予算委員会公聴会会議録第1号』 62. 5.19.
- 座談会・企業年金の発展方向 『信託・特集年金信託』150号 62. 5.
- 年金よもやま話・“貧乏な人”と“裕福な人” 『長陽・夏季号』26巻7号 62. 5.
- 狂乱地価をいかに解するか・大所高所 『飛躍』No. 907 62. 5.
- 労働者災害補償保険の付加給付に関する若干の考察 『労災保険財政研究会 研究資料・個別研究編』労働省労働基準局 62. 5.

労災保険財政研究会・まとめ, 同上書	62. 5.
財テラと生活保障 『週刊 社会保障』1435号	62. 6.
録音室・社会保障給付の重点配分を推進, 同上書	62. 6.
インタビュー・慶應義塾保険学会が創立35周年 『インシュアランス 損保版』3274号	62. 6.
(同上インタビュー 『インシュアランス 生保版』3278号に同時収録・掲載)	62. 7.
インタビュー・国民年金保険料・1割以上が滞納 『日本経済新聞』	62. 6.24.
企業内実年(中高年)対象セミナー 『社会保険新報』441	62. 7.
公的年金制度改革と今後の展望・ブロック講習会講義ダイジェスト 『国民年金弘報』338号	62. 7.
随想・曇のち晴——卒業式のなみだ 『週刊 社会保障』1440号	62. 7.
保険, 必要にして知られ難いもの 『共済と保険』29巻7号	62. 7.
インタビュー・福祉目的税の創設で財政基盤が長期安定 『週刊 社会保障』1442号	62. 7.
保険が福祉を称える意味 『週刊 社会保障』1443号	62. 7.
高齢化社会の現状と問題点——その解決に向けての方途をさぐる—— 『共済季報』16号	62. 7.
生活設計のたて方についてのポイント 『生活設計実践指導の手引き』貯蓄増強中央委員会	62. 7.
これからの社会と生活設計 『北海道新聞』	62. 7.14.
わが国の医療保険制度——その現状と将来のあり方—— 『東京の国保』No. 328	62. 8.
気候と暮らし 『社会保険新報』442	62. 8.
高齢化社会と社会保障 『週刊 社会保障・社会保障読本 1987年版』1445号	62. 8.
年金よもやま話・老年延び易く, 楽成り難し 『長陽・秋季号』26巻8号	62. 8.
売上税廃止案とサッチャー三選 『共済と保険』29巻8号	62. 8.
中高年, 目を上げよう 『共済と保険』29巻9号	62. 9.

B 還暦から満65歳まで

1. 著 書

- | | (発行所) | (西暦年月) |
|--------------------------------|--------------------|----------|
| 『賢く生きる——高齢化と国際化に備えて——』 | 慶應通信 | 1988. 5. |
| 『新種保険論・慶應義塾大学商学会 商学研究叢書』 | 慶應義塾大学商学会・
慶應通信 | 1988.12. |
| 『新「生活保障論」』 | 京屋 | 1989. 6. |
| 『本音を生きる——社会保障と福祉を見つめて——庭田範秋論集』 | 社会保険法規研究会 | 1989.10. |

2. 編 著

- | | | |
|---------------------------------------|---------|----------|
| 『保険学』 | 成文堂 | 1989.10. |
| 「第3章 生命保険論」 | | |
| 『保険における営業性と福祉性』 | 東洋経済新報社 | 1990. 3. |
| 「第2章 保険における営業性と福祉性——概論・その社会的な解明と課題——」 | | |
| 『保険経営学』 | 有斐閣 | 1992. 1. |
| 「第10章 保険の業際総合事情」, 「第11章 保険経営の近未来」 | | |

3. 共 著

(論 文)

- | | | |
|--|-------------|----------|
| 「第2部 交通災害 交通災害に社会保障で対応することの意義と問題点」 | 出版科学総合研究所 | 1987. 7. |
| 第1回「大学と科学」公開シンポジウム組織委員会編『現代社会における法的問題処理——交通災害及び家族問題——』 | | |
| 「第3章 被害者の救済——賠償, 保険, 社会保障——第7 交通災害の救済と社会保障の役割」 | ぎょうせい | 1988. 3. |
| 加藤一郎(研究代表者)『交通災害の抑止と補償に関する学際的研究(報告書)』 | | |
| Chapter 2 Relief for the Victims 14.
Relief to the Suffers of Traffic
Accidents and the Role of Social Security <i>Comprehensive Study on Automobile Accident——Prevention and Compensation——</i> | Ichiro Kato | 1988.3. |
| 「1. 生活設計考 1.2 生活保障と生活設計」 | 朝倉書店 | 1988. 9. |
| 日本家政学会編『家政学シリーズ 22 生活設計論』 | | |
| 「第3章 被害者の救済——賠償, 保険, 社会保障——第7 交通災害の救済と社会保障の役割」 | ぎょうせい | 1988. 9. |
| 加藤一郎編『交通災害の抑止と補償——交通災害の抑止と補償に関する学際的研究
1988』 | | |

- 「2. 保険および社会保障の改革」 保険毎日新聞社 1988.11.
 交通災害と社会保障——医療保障を中心に——
 野村好弘編『交通災害における損害賠償, 保険および社会保障』
 「第5章 民間保険」 中央法規出版 1989. 1.
 福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉士養成講座 5 社会保
 障論』
 「Ⅱ 社会保障の動き 3 医療保険改革の現実と課題」 健康保 東洋経済新報社 1989. 4.
 険組合連合会編『社会保障年鑑 1989年版』
 「Ⅲ. 家庭経営 6. 家計 6.1 家計構造 6.1.6 貯蓄と保険」 朝倉書店 1990.11.
 日本家政学会編『家政学事典』
 「第1章 基本編 40歳からの心とからだの古い支度 4 長寿時 現代社会保険 1991. 2.
 代の保険商品の選び方」
 藤澤晴子編『いきいき人生百科 40歳からの医・食・住・年金・ 介護のすべて』
 「第1部 年金理論編 4 年金・企業経営論」 社会保険法規研究会 1992. 3.
 日本年金学会編『年金の理論と実務——日本年金学会10年 誌——』
 「第5章 民間保険——その公的保険との接点と関係に焦点を合わ 中央法規出版 1992. 3.
 せつつ——」
 福祉士養成講座編集委員会編『改訂 社会福祉士養成講座 5 社会保障論』
 「第1章 基本編 40歳からの心とからだの古い支度 4 長寿時 現代社会保険 1992. 4.
 代の保険商品の選び方」
 藤澤晴子編『いきいき人生百科 40歳からの医・食・住・年金・ 介護のすべて』(改訂版)
 「Ⅲ 年金と民間部門 11 有斐閣 1992. 7.
 金融革命下における年金と資金運用」
 社会保障研究所編『リーディングス日本の社会保障 3 年金』
 (自伝, 随筆他)
 保険と人生——究極の諦観に向けて—— 千倉書房 1987.10.
 真屋尚生・石田重森編著
 『新時代の保険——庭田範秋博士還暦記念論文集——』
 「農林年金財政研究に関わって」 農林漁業団体職員 1989. 3.
 『農林漁業団体職員共済組合・農林年金三十年史編纂委員会編・ 共済組合
 農林年金三十年史』
 「発刊に寄せて」 「虎の門明け暮れ」 1990. 4.
 榊 春夫著『虎の門明け暮れ』 刊行会
 「末高 信先生の思い出」 生命保険修士会 1990. 4.
 末高 信 追悼集刊行委員会編『末高信 追悼集』
 「日火連に向けての私の思い出」 全日本火災共済協同 1990.11.
 全日本火災共済協同組合連合会編『日火連30年史』 組合連合会
 (対談, その他)
 「対談 最新老後のマネープラン大研究」 主婦と生活社 1987.10.
 鈴木健二監修『別冊主婦と生活 '88年版』

- 図解 トクをする年金と保険の本』
 「第3部 大変化する『社会と生活』 74『公的年金』は65歳支給に」
 市川順一編『21世紀への日本・全予兆』
 学習研究社 1991.12.

4. 慶應義塾関係出版物に掲載の論文, その他

(論文)

- 『三田商学研究』
 「新共済事業論——その理念と運動路線——」 33巻4号 1987.10.
 「生活と生産をめぐる危険と保障」 30巻6号 1988. 2.
 「保険における保障機能と金融機能」 31巻2号 1988. 6.
 「保険政策論——その“外なる環境”と“内なる課題”の社会学——」 32巻6号 1990. 2.
 「“保険をめぐる環境変化”と“保険による環境変化”
 ——保険社会学の発想に立って——」 33巻3号 1990. 8.
 「損害保険料率論——その算定をめぐる自由と規制——」 33巻4号 1990.10.
 「非政府年金論」 34巻5号 1991.12.
- Keio Business Review*
 “Security” and “Finance”, Significant Factors Facing Insurance Business in Japan——Insurance, Its Principles and Practice in Japan, Second Series—— No.24 1987
 The Theory and Realities of Insurance Policy in Japan——Sociology of Its External Environment and Internal Problems—— No.26 1989
- 『保険研究』
 「労災事故をめぐる公的保険と私的保険」 40集 1988. 6.
 「新「生活保障」論」 41集 1989. 6.
 「税金問題と経済的保障」 42集 1990. 6.
 「保険における保障・貯蓄・金融——子ども保険を例として——」 43集 1991. 6.
 「金融自由化と自主運用——私的ならびに公的な保険・年金の資金運用をめぐる——」 44集 1992. 6.

(巻頭言, 随筆, その他)

- 『保険学研究』
 「『老後生活問題』を考究するに際し役立つ統計諸表」 23集 1988. 2.
 「社会保障の重要課題のあったこの一年」 24集 1989. 1.
 「企業年金の導入・実施に当たって, 厚生年金基金が最善とされる理由」 25集 1990. 1.
 「現代における親・子の人間関係論」 26集 1991. 1.
 「新世紀に向けて岐路に立つ生保業界」 27集 1992. 1.
- 『三色旗』
 「新種保険論」 499号 1989.10.
- 『慶應義塾大学商学部創立30周年記念号』
 「商学部三十周年を記念して——保険学関係——」
- 『慶應塾生新聞』 1991. 5.10.

「国民年金制度改正 40年の後の生活は？」

5. 学会誌等に掲載の論文, その他

『日本年金学会誌』

- 「年金財政を側面より支える手法」 9号 1989.12.
 「老後生活費と年金のあり方について」 10号 1990.12.
 「年金制度の統一問題」(研究発表要旨) 11号 1991.12.

『季刊 社会保障研究』

- 「第25回社会保障研究所シンポジウム 社会保障の新しい財源政策」 112号 1991. 6.
 「新種保険としての社会保険」 114号 1991.12.

『季刊 年金と雇用』

- 「金融革命下における年金と資金運用」 6巻2号 1987. 9.
 「金融問題と年金制度」 9巻3号 1990.12.
 「「企業年金等研究会中間報告」をめぐって」(座談会) 9巻3号 1990.12.
 「高齢者の生活と医療・年金」 10巻1号 1991. 7.

『損害保険研究』

- 「保険政策と保険経営——経済学と社会学に関わりつつ——」 53巻3号 1991.11.

『アクチュアリージャーナル』

- 「新世紀への年金課題と社会保障」 10号 1992. 5.

『家庭経済学』

<論 文>

- 「税制改革と家庭経済」 No. 2 1989. 7.
 「共通論題「ライフサイクルと家計」の司会を通じて」 No. 3 1990. 5.
 「家庭経済とサービス化——介護問題を含めての考察——」 No. 4 1991. 4.

<巻 頭 言>

- 「ゆたかさの測り方」 No. 5 1992. 4.

『家計経済研究』

- 「福祉社会と家計——そのマクロ経済学的追求——」 創刊号 1987. 9.

『労働法学会研究』

- 「金融革命と企業年金の今後」 38巻15号 1987. 4.
 「公約年金制度改革の方途」 40巻7号 1989. 2.

『文研論集』

- 「保険経済学——“経済学の中の保険”と“保険学の中の経済”——」 85号 1988.12.
 「保険の構造——利用者の視点と提供者の視点から——」 93号 1990.12.

『国際シルバーサイエンス フェスティバル '89——生きがいのある長寿への展望——報告書』

- 「家族の形態はこう変わる」 1989. 9.

『スウェーデン社会研究月報』

- 「社会保障をめぐる日本とスウェーデン」 21巻2号 1989. 2.
 「スウェーデン論の要注意点」 22巻5号 1990. 5.
 「経済発展段階説とスウェーデン」 23巻5号 1991. 5.

6. 委託研究・共同研究報告書, その他

(労働省)

- 「Ⅲ 報告 (1)労働者災害補償保険の付加給付に関する若干の考察」「Ⅳ まとめ」 1987. 5.
『労災保険財政研究会研究史料 (個別研究編)』
- 『労災保険財政に関する当面の検討課題について (中間報告)』 (共同執筆) 1987.10.
『昭和62年度 委託研究報告書 労災保険財政の基盤の強化等に関する研究』 (共同執筆) 1988. 3.
「Ⅲ 報告(1)労災保険における年金資産のあり方について」 1988. 6.
『労災保険財政研究会研究史料 (個別研究編)』
- 『労災保険財政に関する当面の検討課題について』 (共同執筆) 1988.12.
『昭和63年度 委託研究報告書 労災保険における年金財政のあり方等に関する研究』 (共同執筆) 1989. 3.
『農業における災害補償のあり方について』 (共同執筆) 1989. 8.
「Ⅲ 報告 (1)労災保険における費用負担と産業活動の変革等に対応した業種区分のあり方について」 1990. 6.
『労災保険財政研究会研究史料 (個別研究編)』
『労災保険における保有金の運用のあり方について』 (共同執筆) 1991. 7.
- (農林水産省)
『漁業共済制度検討協議会報告』 (共同執筆) 1987.12.
『農業災害補償制度研究会報告』 (共同執筆) 1989.11.
- (総務庁)
『生涯生活設計プログラムの考え方について』 (共同執筆) 1992. 4.
- (家庭経済学研究会)
「第4章 税制改革と生活経済——社会保障との関連を主として——」 1989. 4.
『家庭経済と税制』
「介護問題にみるサービス化」 1990. 8.
『家庭経済におけるサービス化』
- (日本歯科医師会)
『共済制度についての検討結果』 1988. 3.
- (農林漁業団体職員共済組合)
『昭和63年度財政検証に対する意見』 (共同執筆) 1988. 7.
『平成元年度財政検証についての意見』 (共同執筆) 1989. 7.
『農林年金の財政に関する答申』 (共同執筆) 1990. 1.
『平成2年度財政検証についての意見』 (共同執筆) 1990. 7.
『平成3年度財政検証についての意見』 (共同執筆) 1991. 9.
『平成4年度財政検証についての意見』 (共同執筆) 1992. 7.
- (日本電信電話共済組合収支計画調査委員会)
『日本電信電話共済組合の年金財政に関する答申』 (共同執筆) 1989. 9.
- (全国労働者共済生活協同組合連合会)
『子ども保険論』 1991. 3.

(簡易保険郵便年金文化財団)

- 「“総合生活保障”の時代とされる中での簡易保険の使命と機能 1990. 2.
 (a)民間私的保険における社会公共事業——社会的観点に立って」
 『INFORMATION (財)簡易保険郵便年金文化財団だより 資料編 No.1』

(鎌倉市高齢者福祉対策研究会)

- 『鎌倉市における要援護高齢者対策とそのあり方について 報告書』(共同執筆) 1989.10.

(鎌倉市保健医療対策審議会)

- 『本市における今後の保健・医療等のあり方について 1992. 8.
 (一次答申)「保健医療福祉センターの設置について」』(共同執筆)

(国 会)

- 『第112回国会衆議院社会労働委員会議録第6号』 1988. 4. 5.
 「国民健康保険法の一部を改正する法律案に対する意見」
 『第116回国会衆議院社会労働委員会公聴会議録第1号』 1989.11.27.
 「国民年金法等の一部を改正する法律案等に対する意見」
 『第116回国会参議院社会労働委員会議録第7号』 1989.12. 8.
 「国民年金法等の一部を改正する法律案等に対する意見」

7. 研修会・公開講座等の講義録

(単独執筆)

- 『静岡県消費者ホーム講座テキスト No.6 生活設計』 静 岡 県 1987.10.
 『変化の速い現代を上手に生きる生活設計』 佐賀県・佐賀県 1987.10.
 貯蓄推進委員会
 『かていの勉強室 3 くらしと損害保険』 新座市商工労政課 1988.10.

(共同執筆)

- 『社会保障研究所基礎講座(第24回)資料』 社会保障研究所 1988.10.
 「わが国の主な社会保障制度の動向及び課題②年金制度の改正」
 『昭和63年度全国生活設計 指導専門家養成 研修会記録集』 貯蓄広報中央委員会 1989. 3.
 「高齢化社会の問題点とそれへの対応」
 『社会保障研究所基礎講座(第25回)資料』 社会保障研究所 1989.10.
 「年金改革」
 『研修資料 平成元年度版 学校の経営 22』 群馬県教育センター 1990. 2.
 「高齢化社会と社会保障」
 『年金数理部会 特別セミナー報告書』 社会保障制度審議会 1990.10.
 「社会保障の各制度と年金制度との相互関係」 年金数理部会
 『平成3年度 文部省産業教育指導者養成講座講義集録 家庭 1991.12.
 経営・住居編』 全国家庭科教育協会 高校部編
 「高齢化社会と生活設計」
 『平成3年度 農業者年金業務担当者 特別研修会及び相談員 1992. 3.
 研修会講義録』 農業者年金基金

「公的年金の現状と将来展望」

8. 専門・経済雑誌等に掲載の論文, その他

『週刊 社会保障』

<論文, 論評>

「財テクと生活保障」	41巻1435号	1987. 6.
「保険が福祉を称える意味」	41巻1443号	1987. 7.
「さあ“お金”を遣いなさい」	41巻1452号	1987. 9.
「“老いる”と“死ぬ”の福祉論」	41巻1460号	1987.11.
「老人が病気になると」	42巻1465号	1988. 1.
「斃而後已」	42巻1473号	1988. 2.
「激変を望見の時期の社会保障」	42巻1481号	1988. 4.
「再保険・保証保険・信用保険」	42巻1489号	1988. 6.
「社会保障の課題と将来」	42巻1496号	1988. 8.
「たばこ産業年金論」	42巻1498号	1988. 8.
「“昭和の御代”の“国民福祉”」	42巻1506号	1988.10.
「地域型国民年金基金論」	42巻1514号	1988.12.
「1990年の医療保険」	44巻1568号	1990. 1.
「『働き過ぎ』と『儲け過ぎ』」	46巻1686号	1992. 4.
「『規模の利益』と『集積の利益』」	46巻1694号	1992. 6.

<随筆>

「荻窪の川南地区」	43巻1533号	1989. 5.
-----------	----------	----------

<学会報告, 講演録等>

「社会保障給付の重点配分を推進」	41巻1435号	1987. 6.
「国保側も収納率等で自浄努力の強化必要」	42巻1480号	1988. 4.
「年金財政健全化策を報告——日本年金学会の研究発表から——」	43巻1547号	1989. 8.
「人口高齢化で年金財政は窮迫」	43巻1561号	1989.11.
「衆院社会労働委員会公聴会11月27日——評価できる改正案——」	43巻1564号	1989.12.
「参院社労委員会参考人意見11月8日——再計算結果の尊重を——」	43巻1566号	1989.12.
「社会保障各制度と年金制度との相互関係」	44巻1610号	1990.10.
「施設やマンパワー等に重点的に公費財源を配分」	45巻1626号	1991. 2.
「年金学会が中長期的課題等で協議——年金一元化・65歳支給等をめぐって報告——」	45巻1642号	1991. 6.

<座談会, インタビュー>

「意見書は70年一元化を先取りした内容に」	42巻1514号	1988.12.
「年金水準維持には65歳支給が必要——前回改正にも匹敵する新被用者年金制度の創設——」	43巻1517号	1989. 1.
「老人保健制度見直しで検討項目——老健審が暮の意見書作成に向けての本格的審議——」	43巻1546号	1989. 7.
「65歳支給開始年齢が当面の最大課題——国民年金基金設立および学生の適用で準備作業——」	45巻1619号	1991. 1.
「医療費は限界に」	46巻1696号	1992. 7.

『社会保険旬報』

<論文>

- 「1990年代の医療保険改革」 1638号 1989. 1.
「新世紀へ向けて医療保険が歩む道」 1750号 1992. 1.
- <コメント>
「社会保障の新しい財源政策——社会保障シンポジウムから① ③——」 1720,1724号 1991.3.~4.
『インシュアランス (生保版)』
- <論文>
「民間私的保険における社会公共事業——社会学的観点に立って——」 3398号 1990. 1.
「年金制度の課題」 3442号 1990.12.
「子との付き合い, 孫との付き合い」 3450号 1991. 2.
「『保険関係法規の見直し』について」 新年特集号'88 1988. 1.
- <随筆>
「故園乾治先生を偲ぶ——そのお人柄と学風——」 3332号 1988. 8.
「辛口の経験をしました」 3414号 1990. 5.
『インシュアランス (損保版)』
- <論文>
「民間私的保険における社会公共事業——社会学的観点に立って——」 3395号 1989.12.
「『保険関係法規の見直し』について」 3301号 1988. 1.
- <随筆>
「故園乾治先生を偲ぶ——そのお人柄と学風——」 3333号 1988. 9.
『共済と保険』
- <論文>
「年金改革」 31巻11号 1989.10.
「最新の共済研究に思う」 32巻11号 1990.10.
- <随筆>
「役に立つ学問」 31巻7号 1989. 6.
「年金改正を斜に見る」 32巻1号 1990. 1.
『現代社会保険』
- <論文, 論評>
「国民医療の新しい出発」 130号 1988. 1.
「今年的生活設計と社会保障の展望」 142号 1989. 1.
「公的年金で誰が得をし誰が損をするか」 154号 1990. 4.
- <座談会>
「健康保険組合制度の平成近未来の姿
——新しい流れのなかで多角的調整するとき——(L)(F)」 152,153号 1989.11,12.
「老健報・健保法の改正と健保組合の対応
——一元化を睨むこれからの対応——(L)(F)」 183,184号 1992.6,7.
『医療'89』
- <論文>
「民間保険はこれからどう伸びるか」 5巻2号 1989. 2.
『年金情報』
- <論評>
「厚生年金基金制度の25周年に思う——その効用と問題点——」 13号 1991. 3.
「会計の近代化は必要」 42号 1992. 5.
『財形』

<論文>

- 「高齢化の中での財形と税金——非課税貯蓄存続は国の信用と威信——」 15巻5号 1986. 5.
『長陽 福祉と健康』

<随筆>

- 「ああ、つくづく勤勉、日本人——単身赴任エレジー——」 冬季号 1987.
「不信のとき——“言い逃れ”体質で醸成蔓延」 春季号 1988.
「“消す”——今こそ、「悪い麦」の譬えに学ぶ」 夏季号 1988.
「富——全世界の富を得るとも、己が生命を失わば……」 秋季号 1988.
「ボケ防止策——意志のある所には道がある」 春季号 1989.
「『わが闘争』——忘れられない卅の黒文字」 夏季号 1989.
「看護婦さん——その天使性と魔性——」 秋季号 1989.
「夫婦ふたりで1億2,000万円也 60歳からの生活資金はいくら」 冬季号 1989.
「年金の65歳支給開始見送りに思う 今の幸福・将来の不幸」 春季号 1990.
「年金をできるだけ多く受ける方法は？庭田流 [年金ことわざ]」 夏季号 1990.
「自分でつくりだす“人生のハリ” 敵は甘えとチャホヤ」 秋季号 1990.
「今の若い世代に何を期待するか？ああ、現代学生気質」 冬季号 1990.
「勤め人と自営業 老後はどっちが有利？」 春季号 1991.
「ああ、いやだ、いやだ！こんな日本人にはなりたくない」 夏季号 1991.
「現代の日本は“第二の封建時代”か」 秋季号 1991.
「今、もし……東海大地震が起きたら」 冬季号 1991.
「深…^{あか}過^{すぎたるはなおおとよばざるがごとし}猶不及也」 春季号 1992.
「ささやかな誇り」 夏季号 1992.

『週刊 年金実務』

<座談会, その他>

- 「豊かな活力ある社会のために——年金資金の役割 (要旨)」 950号 1991.12.
「次期財政再計算と一元化に向けて(L)(F)」 954,955号 1992. 1.

9. 広報誌等に掲載の論文, その他

『共済新報』

<論文>

- 「昭和63年・年金問題展望」 29巻1号 1988. 1.
「平均寿命の延長と社会保障の問題」 29巻8号 1988. 8.
「年金問題展望——21世紀へ向けての諸課題を踏まえつつ——」 30巻1号 1989. 1.
「平均寿命と年金問題」 30巻11号 1989.11.
「90年代の社会保障——その問題点と方向を探る——」 31巻1号 1990. 1.
「新世紀へ向けての年金のあり方を問う」 31巻4号 1990. 4.
「『長寿世界一』と社会保障の新路線」 31巻9号 1990. 9.
「新時代の年金制度」 33巻1号 1992. 1.
「『平成3年版・厚生白書』を読んで」 33巻5号 1992. 5.

<座談会>

- 「今日の年金・明日の年金」 32巻1号 1991. 1.

『セールスノート』

<論文>

- 「新時代に向けての社会保障と生命保険①～⑥」 32巻263～268号 1988.1.～6.

- 「長寿社会における生命保険の役割とセールス活動の新展開①～⑥」 33巻275～280号 1989.1.～6.
「新世紀に向けて期待される生命保険①～⑥」 34巻287～292号 1990.1.～6.
- 『東京の国保』
- <論文>
- 「わが国の医療保険制度——その現状と将来のあり方——」 28巻8号 1987.8.
「国保改革の問題点と将来展望」 29巻6号 1988.6.
「昭和64年度厚生省予算概算要求をめぐって」 29巻12号 1988.12.
「福祉医療制度の構築に向けて」 31巻4号 1990.4.
「医療供給体制の新動向をめぐって」 31巻10号 1990.10.
「平成4年度厚生省予算概算要求をみて」 32巻11号 1991.11.
「医療法改正の内容と意義」 33巻8号 1992.8.
- <随筆>
- 「福祉に向けての国保の歩みと私の関わり」 29巻10号 1988.10.
「国保連合会創立五十周年を祝う」 32巻10号 1991.10.
- 『埼玉の国保』
- <論文>
- 「新世紀に向けての国民健康保険の路線」 77号 1987.10.
「深刻度を重ねる医療問題と国保の対応」 81号 1988.4.
「二十一世紀を展望しての国民健康保険の課題」 84号 1988.10.
「これからの厚生行政と国民健康保険」 91号 1989.10.
「介護問題と介護対策」 96号 1990.6.
「企業の健保と国民の健保——老健研報告書の内容を国保の側より見る——」 101号 1991.2.
「“年金制度の一元化”と“医療保険の一元化”」 106号 1991.12.
- 『公済時報』
- <論文>
- 「医療保障——過ぎた一年を顧みて、来る一年を思う——」 38巻12号 1987.12.
「医療保障改革の中での老人保健制度の見直し問題」 40巻7号 1989.7.
「社会保障の課題と将来」 41巻11号 1990.11.
「医療保険の路線と老健法の改正」 43巻2号 1992.1.
- 『共済季報』
- <論文>
- 「生活保障事業としての火災共済の新思路」 27号 1990.12.
- <書評, その他>
- 「N. バルウ著・水島一也監修『協同組合保険論』」 18号 1988.3.
「農協共済——その生き残りと発展の21世紀——」 21号 1989.3.
- 『農林年金』
- <論文>
- 「公的年金制度の課題と展望——喜びも悲しみも各年齢層が平等に——」 31巻1号 1989.1.
- <書評>
- 「N. バルウ著・水島一也監修『協同組合保険論』」 30巻4号 1988.4.
- 『教育資料 くらしと保険』
- <論文>
- 「21世紀における生活変化と経済的保障」 65号 1989.1.
- 『官公労働』

- <論文>
「どう変わる公的年金制度とその相互間」 44巻4号 1990. 4.
『経営者』
- <論文>
「公的年金制度改正の概要」 43巻5号 1989. 5.
『健保連 かながわ』
- <論文>
「本番にきた老人保健制度見直し問題」 153号 1989.11.
『研修のひろば』
- <論文>
「近未来の長寿社会と高齢者の生活設計」 54号 1989. 3.
『共済だより』
- <論文>
「農協共済の展望 '88」 178～181号 1988.8.～11.
『パーソナル・ファイナンス』
- <論文>
「新世紀に向けて岐路に立つ生保業界」 25号 1991.11.
『社会保険共済』
- <論文>
「将来を予見させる公的年金の今回改正」 No.33 1989. 4.
『月刊 社会保険労務士』
- <論評>
「社会保険の福祉施設——その内容と今後のあり方をめぐって——」 24巻3号 1988. 3.
「医療保険の一元化に向けていま何をなすべきか」 25巻3号 1989. 3.
「医療保険の改革を通して一元化を見る」 26巻2号 1990. 2.
「保険審議会と社会保障」 27巻6号 1991. 6.
「社会保障制度一元化論」 28巻3号 1992. 3.
『企業年金』
- <論評>
「新鮮味と親しみやすさがほしい」 8巻8号 1989. 5.
「あと10年で新世紀・それに向けての基金のあり方」 9巻1号 1989.12.
「65歳問題、公的年金一元化が基金に投げかかる波紋」 11巻6号 1992. 4.
『国民健康保険』
- <論評>
「医療保険における発想の転換とは——主として国民健康保険をめぐって——」 40巻3号 1989. 3.
『年金の友』
- <論評>
「税制改正をめぐっての年金生活者の願い」 69号 1987. 8.
「税制抜本改革と年金生活者」 74号 1988. 8.
『沖健保ニュース』
- <論評>
「どうなる老人保健、退職者医療!!」 300号 1986. 1.
「健康保険平成2年の展望」 332号 1989.12.
『すこやか』

- <論評>
「健保も国保も医療費節約にいっそう努力を」 1988冬 1988.
「今年は組合財政好転の年に」 1989冬 1989.
『公明』
- <論評>
「21世紀トータルプランを読んで」 326号 1989. 3.
『金門製作所厚生年金基金 基金だより』
- <論評>
「“明るい将来”を“明るい年金”で」 33号 1990. 4.
『国際観光日本レストラン厚生年金基金 基金だより』
- <論評>
「“明るい将来”を“明るい年金”で」 9号 1990. 4.
『長野県トラック事業厚生年金基金 基金だより』
- <論評>
「“明るい将来”を“明るい年金”で」 No. 4 1990. 4.
『全国住宅地開発厚生年金基金 基金だより』
- <論評>
「“明るい将来”を“明るい年金”で」 16号 1990. 4.
『日本冷凍食品厚生年金基金 基金だより』
- <論評>
「“明るい将来”を“明るい年金”で」 14号 1990. 5.
『大日本インキ健保組合ニュース』
- <論評>
「健康保険・平成2年の展望」 1990. 1.
『北海道信用金庫健康保険組合 健保だより』
- <論評>
「健康保険・平成2年の展望」 No.284 1990. 1.
『たくぎん健康保険組合 健保だより』
- <論評>
「健康保険・平成2年の展望」 28号 1990. 1.
『中外健保』
- <論評>
「健康保険・平成2年の展望」 No.77 1990. 1.
『信』
- <論評>
「セールスマン（セールスウーマン）に最近現われてきた変貌」 12号 1987.10.
『『賢く生きる』より老化防止の諸策』 13号 1988.10.
「学校経営——その喜びと涙——」 14号 1989. 9.
「老後生活費と年金」 16号 1991.10.
『富国』
- <論評>
「21世紀に向けての生保セールスマンのあり方」 43巻6号 1988. 9.
『保険文化』
- <論評>

「保障機能と金融機能」	39巻1号	1991. 1.
『くらしと物価』		
<論評>		
「環境激変の中での知性ある消費者とは」	No.59	1988. 1.
『社会保険新報』		
<時評>		
「高校生の就職問題」	No.443	1987. 9.
「昭和62年度『経済白書』の目につくところ」	No.444	1987.10.
「夫婦でもこんなに意見が違うとは」	No.445	1987.11.
「若い女性の生活意識」	No.446	1987.12.
「昭和63年度の成長率」	No.447	1988. 1.
「大学教育の福祉的意味」	No.448	1988. 2.
「福祉目的税」	No.449	1988. 3.
「暗かった見学と明るかった見学」	No.450	1988. 4.
「年金積立金の自主運営」	No.451	1988. 5.
「国保改革の意図するもの」	No.452	1988. 6.
「分都」	No.453	1988. 7.
「社会人講師」	No.454	1988. 8.
「星の流れに……」	No.455	1988. 9.
「野球の思い出」	No.456	1988.10.
「勤め口7割が首都圏集中」	No.457	1988.11.
「地域型国民年金基金の高層をめぐる」	No.458	1988.12.
「巳（み）」	No.459	1989. 1.
「補助金カット」	No.460	1989. 2.
「趣味と福祉」	No.461	1989. 3.
「同床異夢」	No.462	1989. 4.
「高齢者対策は若者対策」	No.463	1989. 5.
「高齢者を雇用せよ」	No.464	1989. 6.
「日本と外国と、病気になると費用は」	No.465	1989. 7.
「“損だ、得だ”の社会保障」	No.466	1989. 8.
「クオリティ・オブ・ライフ」	No.467	1989. 9.
「経済白書“1989年度年次経済報告”の深部」	No.468	1989.10.
「サラリーマン、苛め過ぎ、苛められ過ぎ」	No.469	1989.11.
「日米経済構造協議をめぐる」	No.470	1989.12.
「午年に思う」	No.471	1990. 1.
「大学入試と社会保障」	No.472	1990. 2.
「この世は良いのか悪いのか」	No.473	1990. 3.
「21世紀型モデル都市」	No.474	1990. 4.
「大店法問題」	No.475	1990. 5.
「親孝行は自分のため」	No.476	1990. 6.
「ご苦労さまなお金持ち」	No.477	1990. 7.
「出生率低下をめぐる寸感あり」	No.478	1990. 8.
「教育者側からもひと言」	No.479	1990. 9.
「サラリーマンの生活と老後」	No.480	1990.10.

「原節子」	No.481	1990.11.
「自助努力」	No.482	1990.12.
「未来はどうなるか」	No.483	1990. 1.
「学年末試験」	No.484	1991. 2.
「湾岸戦争と国民生活」	No.485	1991. 3.
「そろそろ定年退職を考える人のために」	No.486	1991. 4.
「遺言」	No.487	1991 .5.
「金溜め族」	No.488	1991. 6.
「革命の条件」	No.489	1991. 7.
「ファイナンシャル・プランニング」	No.490	1991. 8.
「一元化」	No.491	1991. 9.
「花火」	No.492	1991.10.
「悪いこと」	No.493	1991.11.
「この1年」	No.494	1991.12.
「新年なのにえらい事です，東京都民」	No.495	1992. 1.
「ある介護者の昇天」	No.496	1992. 2.
「霊」	No.497	1992. 3.
「経済学」	No.498	1992. 4.
「誠首と定年」	No.499	1992. 5.
「『社会保険新報・500号』を祝して」	No.500	1992. 6.
「臨死体験」	No.501	1992. 7.
「町に顔あり」	No.502	1992. 8.
『飛躍』		
<随筆>		
「道楽もメンの種」	No.912	1987.10.
「決定的瞬間」	No.917	1988. 3.
「信玄の偉さと限界」	No.921	1988. 7.
「汚染」	No.924	1988.10.
「この世はとかく不公平」	No.927	1989. 1.
「なぜ旧国鉄・現JR年金を助けなければならないのか」	No.930	1989. 4.
「文化の大衆化……」	No.933	1989.7,8.
「果たして医療費の有効利用か，無駄遣いか」	No.936	1989.11.
「モディリアニと南方熊楠」	No.939	1990. 2.
「人口増加率，さらにダウン」	No.942	1990. 5.
「今年（平成2年）は医療保障問題が中心課題化」	No.945	1990. 8.
「国際労働力移動」	No.948	1990.11.
「“65歳定年”に向けて」	No.951	1991. 2.
「日本とドイツの考え方」	No.954	1991. 5.
「若朽（若害）」	No.957	1991. 8.
「老人保健施設を出て行く先は？」	No.960	1991.11,12.
「本物と偽物」	No.963	1992. 3.
「私有財産制」	No.966	1992. 6.
『私学共済』		
<随筆>		

- 「お金もうけと社会保障」 410号 1988. 4.
「人間の一生は似たようなもの」 411号 1988. 5.
「『功成り名遂げて』の社会保障」 412号 1988. 6.
「三つの書物と社会保障」 414号 1988. 7.
「雨の朝巴里に死す」 415号 1988. 8.
「生産的労働」 416号 1988. 9.
『年金時代』
<随筆>
「家庭内介護の経験から」 21巻3号 1992. 3.
『早・慶大生のための会社案内』
<巻頭言>
「大きな流れを高く見ての就職活動」 1989年版 1988.
「遥かに新世紀を望み見ての就職戦線」 1990年版 1989.
「産業構造の変化と就職問題」 1991年版 1990.
「就職で損をしない法」 1992年版 1991.
「青春と就職」 1993年版 1992.
『現代医家情報』
<巻頭言>
「医療と自分——その涙と喜び——」 No.15
『愛知県経営者協会の動き』
<巻頭言>
「公的年金の抱える問題点とその解決方向」 469号 1989. 4.
『国年基金の広場』
<座談会>
「国民年金基金に期待する」 5号 1992. 2.
『くらしと保険』
<座談会>
「日本の生命保険はなぜ普及したか、これからは——生命保険文化センターの15年——」 288号 1990. 8.
『信託』
<座談会>
「企業年金の発展の方向」 150号 1987. 5.
『保険セールス』
<パネル・ディスカッション>
「新世紀に向けて輝け！生保セールスマン」 29巻7号 1991. 7.
『たん・れん』
<シンポジウム>
「通算制度・支払保証制度」 68号 1988.12.
『ニッセイ・ジャーナル』
<対談>
「新・生涯財政形成プラン」 19号 1988. 1.
『都・市・み・ら・い』
<対談>
「これからの街づくりは高齢化社会という視点が必要だ」 Vol.5 1990. 3.

10. 専門雑誌・広報誌等に掲載の講演録, その他

『総合社会保障』		
「年金制度の統一問題」	29巻7号	1991. 7.
「社会保障における『一元化』の発想」	30巻6号	1992. 6.
『月刊 長陽』		
「賢く生きる『公助・互助・自助』(1)~(4)」	27巻12~16号	1988.9.~12.
「年金法改正の意義と今後の課題」	28巻16号	1989.12.
『国民年金弘報』		
「公的年金制度一元化の課題」	353号	1988.10.
「これからの高齢化時代を年金制度で乗り切る」	378号	1990.11.
「長寿社会と公的年金」	388号	1991. 9.
「公的年金の現状と課題」	399号	1992. 8.
『健保ニュース』		
「健保連の『提言』に対する見解」	No.1160	1988. 4.
「超高齢社会の社会保障の展望」	No.1217	1989.12.
『ダイワの年金研究』		
「新時代に向けての基金の課題と展望」	No.14	1992. 1.
『漁協の共済』		
「老後生活を楽しむする法——『国民年金基金』をめぐる——」	33号	1990.10.
『平成元年度新潟県生活改善研究集会』		
「これからの暮らしを考える」		1989. 6.
『健康保険』		
「超高齢社会の社会保障の展望」	44巻1号	1990. 1.
『研修だより』		
「高齢化社会と行政の対応」	65号	1991. 3.
『年金のための経済レポート』		
「激変の中での経済と年金の未来」	No.15	1992. 5.
『年金と住宅』		
「高齢者雇用と社会保障制度の充実を」	118号	1991. 5.
『東織・ねんきん』		
「厚生年金基金は企業と家庭を生涯つなげる制度」	51号	1991. 1.
『全商会報』		
「年金制度の現状と今後の展望」	80号	1989.10.
『社会保険を考える実務者の会・年金部門抄録』	1~3,5~14回	1989.5.~1992.6.
『社会保険を考える実務者の会・医療保険部門抄録』	6,8,10~16,19回	1989.4.~1992.5.
「『地ならし改正』をふまえての今後の年金展望」(要旨)		
(農林年金相談センター)		
「年金の効用と問題点」		1990. 7.

11. 広報誌等へ掲載のインタビュー

『社会保険推進連盟』		
「公的年金を土台に豊かな高齢化社会を」		1988. 1.20.
『月刊けんぽ』		

「拠出金のために赤字財政——これは早急に解決を——」	30巻8号	1989. 8.
「健保と地域社会が協力して健康づくりを」	30巻9号	1989. 9.
『第一生命 DANPO 21』		
「フリンジ・ベネフィットの新潮流——高度産業社会での新展開とは——」	創刊号	1988. 9.
『第一生命の厚生年金基金』		
「企業のプレステージを高める厚生年金基金」		1988.10.
『厚生年金基金のご案内』		
「基金加入が業界のステイタスを高め、企業の信用を高めます」		1990. 9.
『プリーティ』		
『『ライフコンサルタント』はどこが違う?』	30巻11号	1991.11.

12. 新聞等に掲載の論説, その他

『朝日新聞』心身と社会制度の充実を		1987.11.24.
『毎日新聞』これからの保険・医療		1987.12. 6.
定年後の経済自立		1991. 2.21.
『読売新聞』自分のことは自分で		1989.12.20.
健康なお年寄り社会をめざして		1991. 4.24.
『産経新聞』老後に生きる早めの設計 (対談)		1989. 7.13.
『日本経済新聞』年金法改正で公聴会		1989.11.28.
渡辺俊介著『年金と社会保障の話』		1990. 4. 1.
個人年金人気集める		1991. 2.12.
『東京新聞』猫とビデオと母と		1991. 5.24.
『下野新聞』「ゆとりの時代」の生きがいテーマに教養セミナー開く		1989. 6.17.
ゆとりの時代をどう生きる		1989. 7.18.
『新潟日報』あなたの老後は安心ですか?		1988. 7.24.
——人生80年時代のマネープラン——		
『北日本新聞』あなたの老後は安心ですか?		1988. 8.10.
——人生80年時代のマネープラン——		
親子・新時代と生活設計		1988.10.27.
『福島民報』福島で“民報くらしのセミナー”		1989. 6.16.
ゆとりの時代をどう生きる		1989. 6.28.
『山形新聞』「年金は老後の援軍」自立自助の姿勢を説く		1992. 5.18.
年金でゆとりの生活設計		1992. 7. 7.
『秋田魁新報』親子・新時代と生活設計		1988. 9.29.
老後は明るく楽しく		1992. 6.19.
知っていますか、あなたの年金		1992. 7. 8.
——実年世代の生活設計——		
『北海道新聞』親子・新時代と豊かな老後を求めて		1988.12.29.
『高知新聞』老後の生活設計を		1987.10.25.
『公明新聞』老人にとって涙の出るほどの喜び		1988.11.27.
豊かな「中間」層の形成を		1989. 1. 1.
目見張る視野の広さと分析の適切さ		1989. 1.27.
研究、調査に立脚した政策立案の姿勢		1989. 7.11.

- 研究, 調査に立脚した政策立案の姿勢 1989. 7.16.
 研究, 調査に立脚した政策立案に好感 1989. 7.21.
 庶民の側から福祉を立案, 遂行 1990. 2. 2.
 白内障の保険適用など「広く国民のための政策」に好感持てる 1992. 7.16.
 『国保新聞』国保改正参考人から意見聴取 1988. 4.10.
 『漁業者ねんきん通信』「老後生活を楽しくする法 『国民年金基金』をめぐって」 1990.11. 1.
 『二松学舎大学新聞』年金はどうか——その生活への影響と対応—— 1991.11. 1.
 『The Japan Economic Journal, December 3, 1988』 1988.12.
 「Pension officials get the gray-folks blues」(Comment)
 『週刊朝日』『ラビドール御宿』老人ホーム体験入居 97巻20号 1992. 5.
- 『追記——外国語に訳されたもの』
- (1)韓国語——金 訳「生命保険」, 「社会保険」
 (木村栄一・高木秀卓・庭田範秋著『保険の知識』, 有斐閣) 1980.11.発行のもの
- (2)韓国語——朴魯敬訳「社会保障制度の構造とその動向」
 (森五郎編著『日本の労使関係システム』, 日本労働協会) 1985. 8.発行のもの
- (3)ロシア語——厚生省関係者訳「日本の医療保険制度」
 (講演略記, 国際協力サービス・センター) 1993. 1.ロシア医療保険
 グループを中心に関係者
 間配布
- 博士学位論文審査報告書 (『平成3年度・博士学位論文《文科系》
 ——内容の要旨および審査の結果の要旨——』, 慶應義塾大学)
- (1)「生命保険の理論——需要者と供給者の視覚から——, 石田重森」
 (2)「保険理論と自由平等, 真屋尚生」 1992.6.
 ※石田, 真屋両君の博士学位請求論文の内容のそろって高水準なのに触発・影響されて, 庭田としてはこの両報告書の書き上げに際し, 近年とりわけ力を盡すところが大きであった。

C 満65歳から定年退職の日まで

1. 著 書

	(発行所)	(西暦年月)
『増補 新種保険論』	慶應通信	1992.12.
『競争時代の保険・共済——加筆5版』	慶應通信	1992.10.
『Insurance, Its Principles and Practice in Japan, second series』	The Keio Tsushin	1993.

2. 編 著

	(発行所)	(西暦年月)
『新保険学』 「第9章 協同組合保険とその時代」	有斐閣	1993. 3.

3. 論 文

『季刊 年金と雇用』 「所得再分配と年金制度」	第11巻第2号	1992. 8.
『共済新報』 「年金研究会中間報告書を読んで」	第33巻第9号	1992. 9.
『季刊 家計経済研究』 「国際化と国民生活」	通巻第16号	1992.10.
『総合社会保障』 「65歳」	第30巻第10号	1992.10.
『季刊 社会保障研究』 「保険学からする社会保険学」	第28巻第3号	1992.12.
『日本年金学会誌』 「中間年金論」	第12号	1992.12.
『Keio Business Review』 「State of and Problems with Non-Government Pensions in Japan」	No.29-2	1992.
『共済新報』 「年金問題展望——その本質的な部分と具体的な部分」	第34巻第1号	1993. 1.
『三田評論』 「企業本位から家庭本位の社会へ——生活保険」	第945号	1993. 3.

4. 小 冊 子

『講演シリーズ——(社)地方行財政調査会』 「高齢化社会と行政の対応」	第51号	1992.10.
『社会保障を考える実務者の会』 「医療保険部門」	No.20~22	1992.9.~ 1993. 3.
「年金部門研究会」	No.15, No.17	1992.9.~ 1993. 3.

5. 共同研究会報告書(参加・協力作成)

農林漁業団体職員共済組合・年金問題研究会 『次期制度改正において予想される問題点について』	1992. 11.
被用者年金制度間調整事業に関する懇談会 『被用者年金制度間調整事業に関する懇談会報告書』	1992. 11.
鎌倉市高齢者保健福祉計画作成委員会 『「鎌倉市老人保健福祉計画」について』	1993. 4.

6. 専門・経済雑誌等へ掲載の論文

『週刊 社会保障』		
「老若福祉戦争」	第46巻第1703号	1992. 8.
「見えだしてきた公的年金一元化の構図」	第46巻第1711号	1992. 10.
「大丈夫かな, 自助努力」	第46巻第1719号	1992. 12.
「サービス残業」	第47巻第1726号	1993. 2.
「シンボー・タイボー・キューボー」	第47巻第1734号	1993. 4.
『埼玉の国保』	第113号	1992. 12.
「福祉志向の中での医療保障と国民健康保険」		

7. その他

『社会保険新報』		
「町に顔あり」	502号	1992. 8.
「新人類」	503号	1992. 9.
「恐慌」	504号	1992. 10.
「社会関心としての高齢化問題」	505号	1992. 11.
「織田信長」	506号	1992. 12.
「人生とは何ぞや」	507号	1993. 1.
「文学」	508号	1993. 2.
「医療過誤」	509号	1993. 3.
『「社会保障将来像」について』	510号	1993. 4.
『長陽』		
「窮迫」	第31巻第11号	1992. 8.
「国難」	第31巻第15号	1992. 11.
「終栖」	第32巻第 3号	1993. 2.
『飛躍』		
「保険審議会答申」	969号	1992. 9.
「金融と保障」	972号	1993. 1.
「満期保険金」	975号	1993. 4.
『週刊 社会保障』		
「新春医療保険座談会——時代に即した給付の範囲等を検討—— 医療保険各制度の経営努力前提に改革を」	第47巻第1721号	1993. 1.
「社会保障財政の健全化が緊急課題」	第47巻第1728号	1993. 2.
『健康保険時報・100号記念特集号』	100号	1992. 9.
「100号達成, おめでとう」		

『信』	第17号	1992.10.
「厚生年金基金と国民年金基金」		
『年金時代』	通巻291号	1992.10.
「年金改革は65歳支給開始問題を抜きに語れない」		
『わかさ』	第3巻第10号	1992.10.
「『公的年金に加入している人は今後しだいに不利になる』というのは本当か」		
『週刊 年金実務・第1000号』	第1000号	1992.11.
「『年金実務』1000号を祝う」		
『J R 共済ニュース』	第68号	1992.11.
「所得再分配としての社会保障」		
『福祉社会だより』	通巻第102号	1992.12.
「年金一元化とその課題」		
『でんせつねんきん・基金だより』	76号	1993. 1.
「年金制度の充実と発展をめざして」		
『ねんきん・あなたの基金だより』	87号	1993. 1.
「年金制度の充実と発展をめざして」		
『保険毎日新聞』		1993.2.1.
「平成4年・保審答申——わたしはこう見る」		
『家庭経済学』	6号	1993. 3.
「巻頭言——学者受難の時代」		
『ベネフィス21』		
「インタビュー・次期年金制度改正の動向と企業年金」	第15号	1993. 1.
「座談会・企業福祉の理念と展望」	第16号	1993. 4.
『週刊 国保実務』	第1828号	1993. 2.
「日医が社会保障の現状と展望で医政シンポ——そこでの 社会保障の総論についての語り」		
『週刊 年金実務』	第1011号	1993. 2.
「医政シンポ, 社会保障の大きな曲がり角で問題提起——そこでの講演内容」		
『保険学研究』	第28号	1993. 1.
「学ぶことの意義」		

D 在職中に原稿提出済みで近く発刊のもの

(○印は本稿校正中に完成・公刊されしもの)

- 『ブリタニカ国際大百科事典・改訂版』 TBSブリタニカ
「保険」
- 『家政学用語辞典』 朝倉書店
「公的年金」, 「社会保障」, 「所得保障」, 「生命保険」, 「年金」, 「保険」
- 『生活の経済学と福祉』 建帛社 (○, 平成5年5月)
「家庭経済の変化と生活保障の対応」
「はしがき」
- 『厚生年金基金制度・25周年記念誌』 厚生年金基金連合会 (○, 平成5年3月)
「25周年記念誌の発刊に寄せて」
- 『スウェーデン社会研究月報』 スウェーデン社会研究所 (○, 平成5年4月)
「学ぶべく, 真似るべからず」
- 『日本医師会雑誌』 日本医師会
「日本の医療保険制度・講演録」
- 『社会保険新報』 東京社会保険協会 (○, 平成5年5月)
「サラリーマンに時ならぬ雲が降る」
- 『新しさを生きる』 (株)法研
『慶應義塾大学通信教育テキスト・保険学』 慶應義塾大学通信教育部
『保険総論』 慶應通信
『ファイナンス&インシュアランス』 成文堂
『Japan, An Illustrated Encyclopedia』 講談社
「national health insurance」, 「pensions」
- 『ベネフィス21・総合企業福祉情報』 第一生命保険相互会社 (○, 平成5年4月)
「座談会・企業福祉の理念と展望」
- 『社会保険労務士』 全国社会保険労務士会連合会 (○, 平成5年5月)
「社会保障と自助努力」
- 『くらしとねんきん』 社会保険研究所 (○, 平成5年5月)
「論点・運命の厚生年金65歳支給の問題」
- 『プリーティ』 全日本生命保険外務員協会・インターネット (○, 平成5年6月)
「特別鼎談・今後求められる営業職員の姿を探る。」
- 『読賣新聞』 (○, 平成5年4月31日~5月2日)
「負債の理由 上・中・下, 変額保険を追う」 インタビュー (○, 平成5年4~5月)
- 『長陽』 北村社会保険出版株式会社 (○, 平成5年5月)
「宗教・くりかえし論ずべし」
- 『社会保険新報』 東京社会保険協会 (○, 平成5年6月)
「円高——この妙(みょう)なるもの」
- 『週刊・社会保障』 法研 (○, 平成5年6月)
「今週の論評“地方の時代”と“地方の行政”」
- 『東京の国保』 東京都国民健康保険団体連合会 (○, 平成5年6月)
「医療保険審議会の課題と国保の対応」
- 『総合社会保障』 社会保険新報社 (○, 平成5年6月)
「企業経営と被用者と社会保障の三つ巴」

- 『いきいき人生百科・改訂新版』 現代社会保険 (○, 平成5年5月)
「長寿時代と保険商品の選び方」
- 『公済時報』 公立学校共済組合 (○, 平成5年6月)
「公的な医療保険の一元化へ向けての諸課題」
- 『国民医療年鑑 (平成4年度版)』 日本医師会編・春秋社
「平成4年度・医政シンポジウム『社会保障の現状と展望』(講演内容)」